

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第25週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている
/ その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.7-8

コクサッキーウイルスA6型 2013年



速報
P.9-10

当初は水痘を疑って対策を行ったCA6による手足口病の1例 - 臨床現場からの報告



海外感染症情報
P.11-21

アフリカでのコレラの流行状況について / 世界におけるインフルエンザ流行状況 / パキスタンでクリミア・コンゴ出血熱の患者が発生しています / 中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について / 中東呼吸器症候群(MERS)感染症に関する暫定的サーベイランスの推奨



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(25週)
P.23-28



25週のデータ
P.29-42

 **発生動向総覧**

< 第25週コメント > 6月26日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核440例

3類感染症

細菌性赤痢4例 菌種: *S. sonnei*(D群)4例__感染地域: 山口県1例、インドネシア1例、カンボジア1例、フィリピン1例

腸管出血性大腸菌感染症78例(有症者52例、うちHUS 3例)

感染地域: 国内77例、韓国1例

国内の感染地域: 東京都6例、山形県5例、兵庫県5例、千葉県4例、三重県4例、大阪府4例、宮城県3例、岐阜県3例、京都府3例、福岡県3例、岩手県2例、石川県2例、長野県2例、愛知県2例、和歌山県2例、広島県2例、徳島県2例、大分県2例、宮崎県2例、鹿児島県2例、福島県1例、茨城県1例、栃木県1例、群馬県1例、埼玉県1例、神奈川県1例、富山県1例、滋賀県1例、岡山県1例、佐賀県1例、国内(都道府県不明)7例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(3例)、3歳(6例)、4歳(1例)、5歳(3例)、6歳(3例)、7歳(1例)、9歳(1例)、10代(13例)、20代(14例)、30代(11例)、40代(3例)、50代(3例)、60代(9例)、70代(3例)、80代(2例)、90代以上(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(30例)、O26 VT1(15例)、O157 VT2(10例)、O157 VT1(5例)、O103 VT1(4例)、O26 VT2(1例)、O111 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O157 VT不明(1例)、O26 VT不明(1例)、その他・不明(9例)

累積報告数: 596例(有症者430例、うちHUS 12例、死亡なし)

腸チフス2例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インド1例

4類感染症

E型肝炎4例

感染地域(感染源): 北海道1例(生肉)、東京都1例(不明)、国内(都道府県不明)1例(不明)、タイ/台湾1例(不明)

A型肝炎4例

感染地域: 広島県3例、国内(都道府県不明)1例

つつが虫病5例

感染地域: 青森県2例、山形県1例、福島県1例、栃木県1例

デング熱7例 感染地域: インドネシア4例、タイ1例、サウジアラビア1例、ベトナム1例

日本紅斑熱4例 感染地域: 和歌山県1例、島根県1例、広島県1例、熊本県1例

マラリア3例 熱帯熱2例__感染地域: ケニア2例
病型不明1例__感染地域: パキスタン

レジオネラ症16例(肺炎型15例、ポンティアック型1例)
感染地域: 山口県2例、福岡県2例、北海道1例、福島県1例、茨城県1例、栃木県1例、東京都1例、神奈川県1例、富山県1例、石川県1例、静岡県1例、三重県1例、国内(都道府県不明)2例
年齢群: 40代(1例)、50代(4例)、60代(4例)、70代(3例)、80代(3例)、90代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢12例(腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症2例)
感染地域: 東京都2例、大阪府2例、山形県1例、千葉県1例、国内(都道府県不明)4例、中国1例、トルコ1例
感染経路: 経口感染5例、性的接触3例(同性間2例、異性間・同性間不明1例)、不明4例

ウイルス性肝炎3例 B型3例__感染経路: 性的接触3例(異性間3例)

急性脳炎2例 ヘルペスウイルス1例__年齢群: 40代
病原体不明1例__年齢群: 1歳

クロイツフェルト・ヤコブ病3例
孤発性プリオン病古典型3例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
年齢群: 60代

後天性免疫不全症候群16例(AIDS 3例、無症候12例、その他1例)
感染地域: 国内15例、国内・国外不明1例
感染経路: 性的接触15例(異性間5例、同性間10例)、不明1例

ジアルジア症2例 感染地域: 神奈川県1例、兵庫県1例

侵襲性インフルエンザ菌感染症2例(うち、肺炎1例__菌検出検体: 血液2例)
年齢群: 0歳(1例)、60代(1例)

侵襲性肺炎球菌感染症10例(うち、肺炎のみ2例、髄膜炎のみ2例、肺炎・髄膜炎1例__菌検出検体: 血液7例、血液・髄液1例、髄液2例)
年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、5歳(1例)、30代(1例)、50代(1例)、60代(1例)、70代(1例)、80代(2例)、90代(1例)、死亡)

先天性風しん症候群1例
病型: 典型例
感染地域: 東京都

梅毒15例(早期顕症I期4例、早期顕症II期7例、晩期顕症1例、無症候3例)

破傷風3例 年齢群: 60代(1例)、70代(2例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例
遺伝子型: 不明2例__菌検出検体: 便2例

風しん504例(検査診断例337例、臨床診断例167例)

感染地域 : 大阪府104例、東京都70例、神奈川県30例、兵庫県29例、福岡県17例、愛知県15例、鹿児島県14例、埼玉県13例、千葉県12例、京都府11例、滋賀県10例、和歌山県8例、三重県7例、宮城県6例、群馬県6例、広島県5例、静岡県4例、茨城県2例、栃木県2例、石川県2例、奈良県2例、島根県2例、福島県1例、新潟県1例、長野県1例、岡山県1例、香川県1例、愛媛県1例、長崎県1例、熊本県1例、大分県1例、東京都/神奈川県1例、京都府/大阪府1例、国内(都道府県不明)120例、国内・国外不明2例

年齢群 : 0歳(5例)、1歳(3例)、2歳(2例)、3歳(3例)、4歳(3例)、5～9歳(10例)、10～14歳(7例)、15～19歳(32例)、20～24歳(52例)、25～29歳(60例)、30～34歳(59例)、35～39歳(101例)、40代(104例)、50代(52例)、60代(10例)、70代(1例)

累積報告数 : 11,489例(検査診断例7,879例、臨床診断例3,610例)

麻しん7例〔麻しん(検査診断例2例、臨床診断例3例)、修飾麻しん2例〕

感染地域 : 神奈川県3例、京都府1例、大阪府1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群 : 0歳(1例)、15～19歳(1例)、20～24歳(2例)、25～29歳(1例)、40代(1例)、70代(1例)

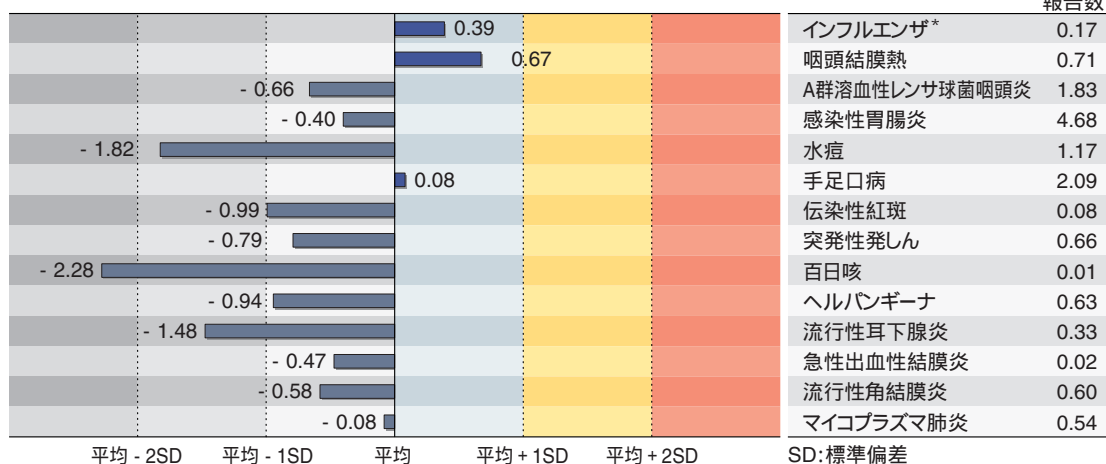
累積報告数 : 152例〔麻しん(検査診断例55例、臨床診断例58例)、修飾麻しん39例〕

(補)2012年第25週から2013年第24週までに診断されたものの報告遅れとして、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域 : 北海道)、急性脳炎2例〔ロタウイルス2例__年齢群 : 4歳(1例)、6歳(1例)〕、クリプトスポリジウム症1例(感染地域 : 北海道)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例〔50代(1例)、60代(1例)、80代(1例)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第25週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.16)、宮崎県(0.93)、岐阜県(0.63)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は361例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では佐賀県(2.91)、広島県(1.42)、石川県(1.21)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(3.21)、石川県(3.00)、福井県(3.00)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。都道府県別では宮崎県(10.17)、大分県(9.36)、福井県(6.91)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(2.61)、大分県(2.22)、鹿児島県(1.84)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では佐賀県(9.74)、大分県(8.44)、熊本県(8.06)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(1.31)、新潟県(0.34)、宮城県(0.26)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(0.06)が多い。

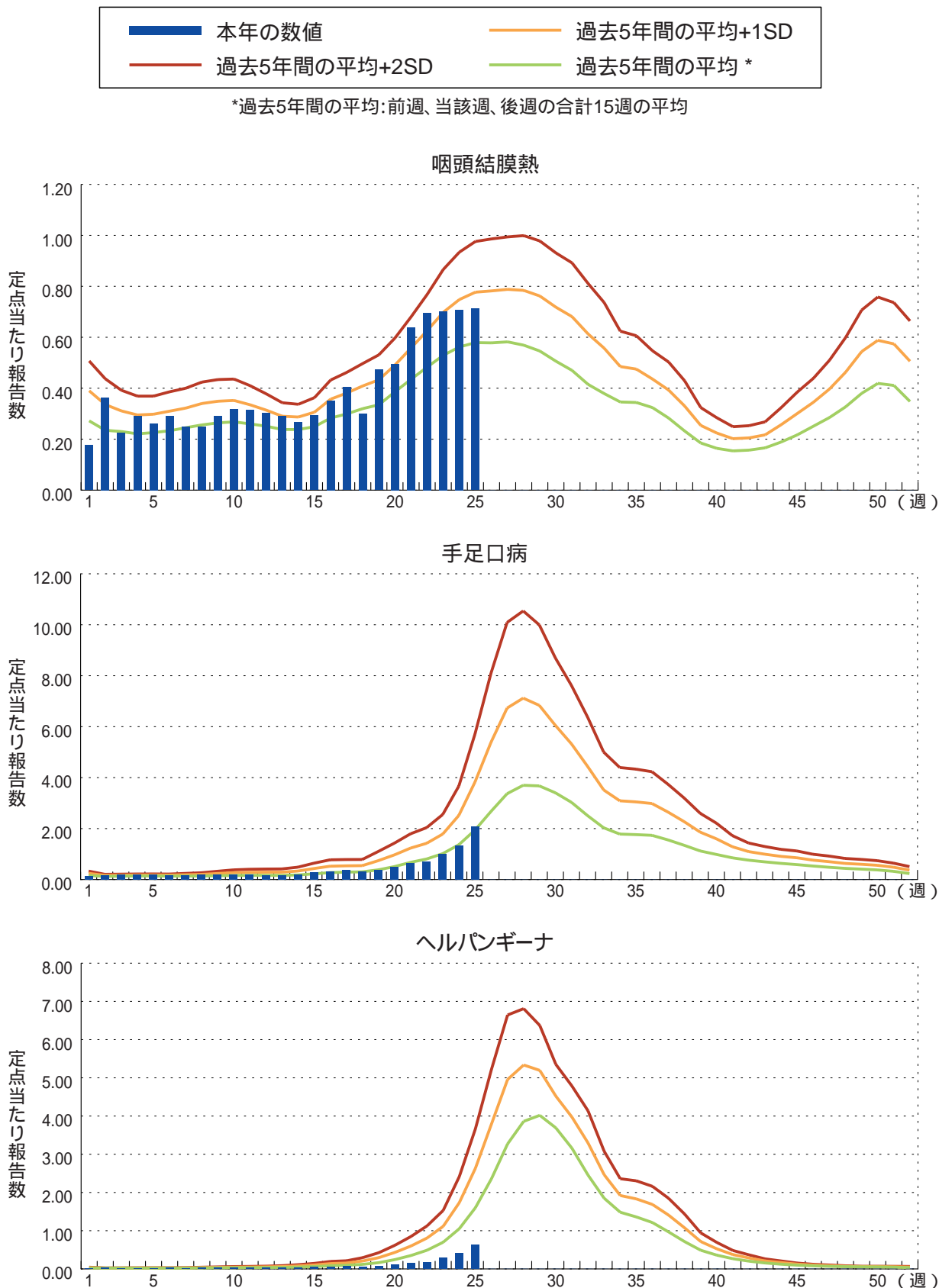
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では熊本県(2.64)、佐賀県(2.09)、徳島県(1.83)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(1.91)、佐賀県(0.96)、福島県(0.91)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(2.43)、青森県(2.33)、福島県(2.00)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第25週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

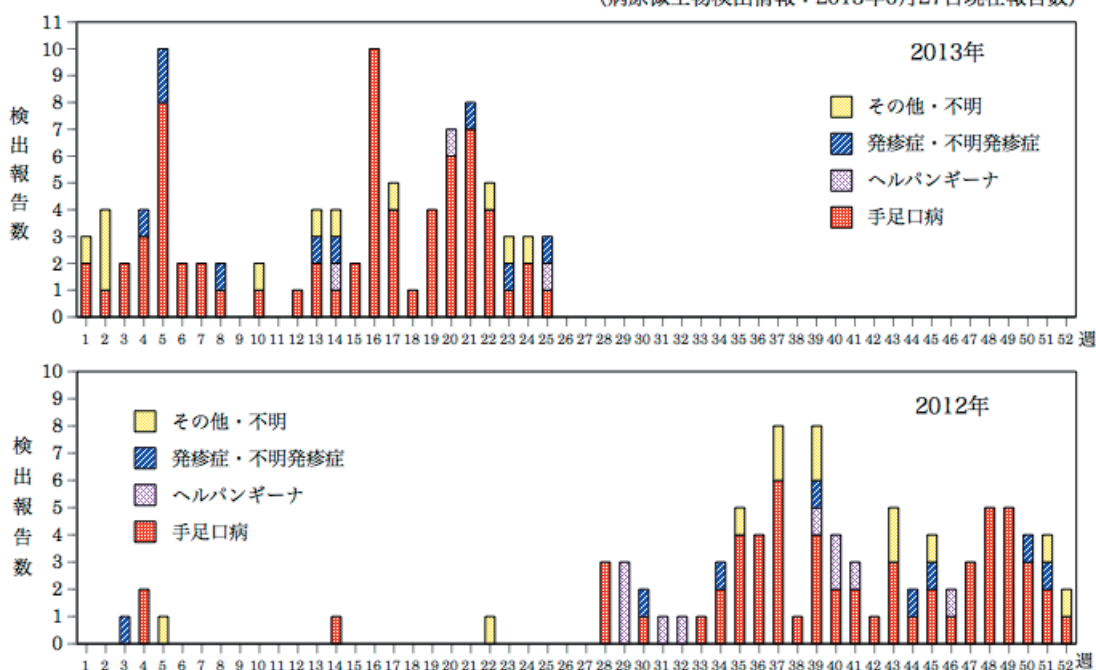
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年6月27日現在報告分)

コクサッキーウイルスA6型 2013年

週別診断名別コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告数、2012&2013年

(病原微生物検出情報：2013年6月27日現在報告数)

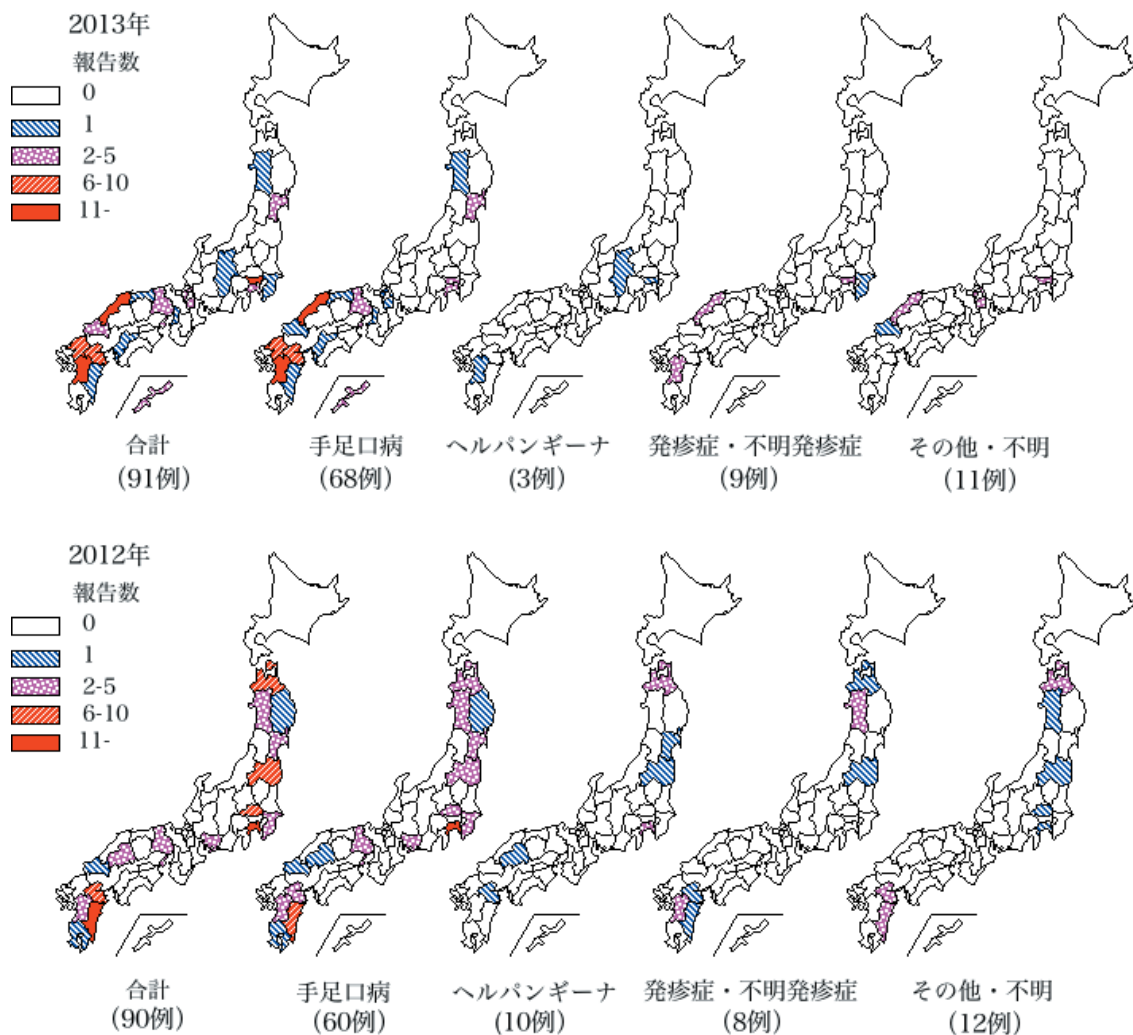


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



コクサッキーウイルスA6型(CA6)の検出報告数は2011年は1,210件と1980年以降では最も多かった(<https://nesid3g.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data58j.pdf>)。2012年は90件と少なかったが、2013年には第1～25週までに島根県28件、熊本県15件、東京都11件など、18都府県から91件が報告されている。

都道府県別診断名別コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2012&2013年
(病原微生物検出情報：2013年6月27日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2013年にCA6が検出された患者の診断名は、手足口病が68例と最も多く、発疹症・不明発疹症が9例、ヘルパンギーナが3例と次いでいる。その他には下気道炎3例、ヘルペス口内炎・歯肉炎2例などが報告されている。

コクサッキーウイルスA6型検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/2293-iasrgv4.html>
を参照ください。

コクサッキーウイルスA6型検出速報集計表は

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1493-iasr-table-v.html>
のエンテロウイルス(1)を参照ください。



当初は水痘を疑って対策を行ったCA6による手足口病の1例 - 臨床現場からの報告

2013年6月10日、当院Infection Control Team(ICT)に小児科から小児科病棟内にある小児集中治療室(PICU)で水痘疑い症例が発生したとの連絡が入った。当該患児は5月中旬よりPICUに収容されており、同室に収容されている他の児との直接の接触はなかったが、水痘は空気感染を感染経路に持つ極めて感染力の強い感染症であり、また発疹が6月8日から出現していたことから感染拡大防止対策の早急な立案と実施が求められていた。ICTは直ちに小児科病棟に赴き、小児科と共同で対策に当たった。以下にその結果を記述する。

症例：2歳0カ月 女児

基礎疾患：ダウン症、心室中隔欠損、肺高血圧症

水痘罹患歴・水痘ワクチン接種歴：ともに無し

現病歴：2013年5月16日に喘鳴が出現、低酸素血症をきたして当院小児科病棟にあるPICUに入院。低酸素血症は順調に改善して退院も予定されていたが、6月8日に臀部を中心に限局した発赤を伴う丘疹が多数出現し、6月10日には両上下肢、顔面等全身に同様の丘疹が多発、一部水疱形成をきたした。発疹出現に伴った発熱はみられなかった。

小児科病棟にて協議を行い、当該患児の隔離、PICUの使用制限、また同室児の発症予防策として6月14日から抗水痘・带状疱疹ウイルス薬の内服を開始すること等が決定された。一方、当該患児の発疹は両上下肢に多発しているものの体幹部にはほとんど認められておらず、頭皮には見られなかった。丘疹は5mm程度と水痘に矛盾しない大きさであったが水疱形成の程度は軽く、痂皮化しているものはなく、また色素沈着しているものもなかった。PICU入室後26日目に発疹が出現していたこと等からも、当該患児の水痘発症の可能性は否定できないものの、2011年に全国的に流行したコクサッキーウイルスA6(CA6)による手足口病に類する感染症を発症している可能性が考えられた。

既に水痘・带状疱疹ウイルスに対する特異的検査のための検体提出は行われていたが、協議を行った結果、エンテロウイルスの感染を検知するための検査についても、当該患児の咽頭ぬぐい液、水疱内液、糞便の3検体を採取し、実施することとなった。

水痘・带状疱疹ウイルスに対する特異的検査の結果は6月12日に明らかとなり、血清検査による特異的IgG、IgMはともに陰性、また水疱内液に対する同ウイルス特異的抗原検査も陰性であった。また、同日のうちに咽頭ぬぐい液、水疱内液、糞便の3検体すべてからPCR検査によりエンテロウイルスの存在が明らかとなった。この結果を受け、当院ではPICUの使用制限を解除し、当該患児の水痘の治療を中止するとともに、14日から開始予定であった同室児達への水痘発症予防内服も中止とし、接触感染予防策の強化維持に努めることとした。その後14日にはVP1領域の塩基配列が決定され、3検体由来のエンテロウイルスはすべてCA6であると同定され、当該患児はCA6による手足口病であると確定診断された。

手足口病の原因ウイルスはエンテロウイルスであり、これまでは主にコクサッキーウイルスA16(CA16)やエンテロウイルス71(EV71)によるとされてきたが、2009年頃からCA6を病原とする手足口病が多くみられるようになり、2011年はCA6による手足口病が全国的に大きく流行したことは記憶に新しい(IASR Vol. 33, No. 3, March, 2012 : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr>

vol33/1750-iasr-385.html 参照)。CA6を病原とする手足口病は、水疱がかなり大きく、四肢末端に限局せずに広範囲に認められるといった臨床的特徴がある。本症例は、CA6による手足口病に矛盾しない臨床所見であったが、水痘であった場合の同室児への影響の大きさを考え、検査によって手足口病であることがほぼ確定し、水痘が否定されるまでは水痘に対する対策を続行する方針であった。その後の迅速な検査対応により、水痘発症阻止のための予防内服は実施前に中止となり、またPICUの使用制限も早期に解除できた。なお、今後はCA6による手足口病の特徴である爪甲脱落症について注意していく必要がある。

本年はこれまでのところ、2011年に続いてCA6を病原とする手足口病の割合が多くを占めており(国立感染症研究所ホームページ : <https://nesid3g.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf> 参照) 今後の発生動向の推移に注意が必要であると思われる。

大阪府済生会中津病院ICT

安井良則 堀越敦子 田中敬雄

同小児科

大和謙二 末廣 豊

国立感染症研究所感染症疫学センター第4室

藤本嗣人 小長谷昌未 花岡 希

(IASR 2013年7月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

アフリカでのコレラの流行状況について

2013年6月3日 WHO(AFRO)

世界保健機関(WHO)アフリカ地域事務所(AFRO)の情報によりますと、今年1月1日から6月3日までに、アフリカの18か国で25,762人のコレラ患者が報告されており、そのうち490人が死亡しています(致死率は1.9%です)。

患者数が最も多く報告されているのはコンゴ民主共和国(18,375人、このうち死亡者数は333人)です。次いで、アンゴラ(2,276人、このうち死亡者数は84人)、モザンビーク(1,861人、このうち死亡者数は19人)の患者数が多く報告されています。

世界におけるインフルエンザ流行状況(更新11)

2013年6月7日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は低い水準に低下しました。
- ・熱帯地域でのインフルエンザの活動性は様々です。前週と同様の傾向で、マダガスカルではインフルエンザの活動性が高いと報告されました。
- ・南半球のインフルエンザ活動性は、南米と南アフリカで増加し始めましたが、オセアニアでは依然として低い水準です。
- ・中国のH7N9に関する情報はWHOのウェブサイトを参照して下さい。
http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html
- ・北半球におけるインフルエンザシーズンのインフルエンザ活動性のまとめは5月31日付のWHOの疫学週報(World Epidemiological Report)に掲載されました。
<http://who.int/wer/2013/wer8822.pdf>

【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は低い水準となりました。

カナダでは、インフルエンザB型がインフルエンザシーズンの終盤から伝播したため、シーズンが長引いていましたが、インフルエンザの活動性は低下しました。インフルエンザ様疾患(ILI)の受診は過去8週間以上にわたって変動がなく、予想される範囲を上回っていますが、ライノウイルスの伝播に関連しているようです。

ヨーロッパ、アフリカ北部、北アジア、米国での伝播は、シーズンオフの水準に戻りました。

2012年-2013年の北半球におけるインフルエンザシーズンのまとめは5月31日付のWHO疫学週報に掲載されました。

<http://who.int/wer/2013/wer8822.pdf>

【熱帯地域】

- ・アメリカ大陸の熱帯地域(中米、カリブ海諸国)

中米の活動性は依然として低い水準です。カリブ海諸国、キューバ、ドミニカ共和国のインフルエンザの活動性はインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスが優勢と報告されています。コロンビア、エクアドル、ペルーも主にインフルエンザA(H1N1)pdm09によるインフルエンザの活動性が

報告されましたが、数か国ではインフルエンザA(H3N2)が検出されたと報告されました。

・ 中部アフリカ

中部アフリカの熱帯地域の数か国では、過去数週間にわたって、低い水準で伝播が続いており、3種類のウイルス型が様々な割合で伝播していると報告されました。マダガスカルでは、4月上旬からインフルエンザの活動性が高い水準であると報告されており、インフルエンザA(H1N1) pdm09とインフルエンザB型ウイルスがともに伝播しています。

・ アジアの熱帯地域

南アジアにおけるインフルエンザの伝播は、前週と同様であり、3種類のウイルス型が混在していました。タイとベトナムにおけるインフルエンザの活動性は、依然として低く、インフルエンザA(H1N1) pdm09とインフルエンザA(H3N2)が伝播しています。ラオスの活動性は、依然として低く、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が伝播しています。中国南部におけるインフルエンザの活動性は低下し続けており、インフルエンザA(H1N1) pdm09が優勢です。

【南半球の温帯地域】

南半球では、南米と南アフリカでインフルエンザの活動性が高くなりましたが、オセアニアでは、依然として低い水準です。

南米のアルゼンチン、ブラジル、チリ、パラグアイ、ウルグアイにおけるILIと重症急性呼吸器感染症(SARI)は、過去数週間、呼吸器疾患を起こすウイルスの伝播が増加傾向にあることを示しています。アルゼンチン、チリ、パラグアイでは、最近のILIとSARIの活動性の増加は、主にRSウイルスによるものでしたが、少数ながらインフルエンザの陽性検体数が増加しています。アルゼンチン、ブラジル、チリでは、インフルエンザA(H1N1) pdm09が主に検出されており、パラグアイでは、インフルエンザA(H3N2)が主に検出されたと報告されました。

南アフリカでは、インフルエンザの活動性が高くなっており、インフルエンザA(H1N1) pdm09が優勢と報告されました。

オーストラリア、ニュージーランドや太平洋諸島におけるインフルエンザの活動性は、依然として低い水準と報告されました。

パキスタンでクリミア・コンゴ出血熱の患者が発生しています

2013年6月14日 WHO(EMRO)

6月14日付けで、世界保健機関(WHO)東地中海地域事務所(EMRO)から公表された情報によりますと、パキスタンでは、今年1月から6月9日までにクリミア・コンゴ出血熱が疑われる患者が16人報告されており、このうち6人が死亡しました(致死率は37.5%です)。これまでに、16人のうち7人がクリミア・コンゴ出血熱の患者と確定診断されました。

クリミア・コンゴ出血熱はパキスタンに常在しており、2000年以降、散発的な患者発生が報告されているほか、ウイルスが定着した場所で、しばしば局地的な集団感染が報告されています。昨年は1年間に61人の患者が報告されており、そのうち17人が死亡しました(致死率は27.8%でした)。

世界におけるインフルエンザ流行状況(更新12)

2013年6月21日 WHO

【要約】

- ・ 北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は低い水準に低下しました。
- ・ アジアの熱帯地域におけるインフルエンザの活動性も低下しましたが、スリランカとベトナムでは、インフルエンザA型の活動性が増加し続けています。
- ・ 中米とカリブ海諸国のインフルエンザの活動性は前週に比べ、依然として低いと同様ですが、キューバとドミニカ共和国ではインフルエンザの活動性が増加したと報告されました。
- ・ 南半球のインフルエンザ活動性は、南米と南アフリカで若干増加し始めましたが、オセアニアでは依然として低い水準です。南米では、RSウイルスが優勢ですが、インフルエンザが陽性になる割合が増加しました。
- ・ 中国のH7N9に関する情報はWHOのウェブサイト参照して下さい。
http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【北半球の温帯地域】

・ 北米

北米におけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で低い水準に低下しました。

カナダでは、インフルエンザが陽性になる割合は低下し続けており、5月の最終週には3.4%となりました。依然として、インフルエンザB型が優勢です。国のインフルエンザ様疾患(ILI)の受診は過去8週間にわたって変動がありませんが、過去5週間、予想される範囲を上回っています。

米国では、インフルエンザの活動性が低下し続けており、シーズンオフの水準に戻りました。全国的には、ILIの外来受診率は0.9%となり、国の閾値である2.2%を下回りました。協力センターでは2,746検体の検査が行われ、インフルエンザが陽性であったのは177検体(6.5%)でした。依然として、インフルエンザB型が優勢です。

メキシコでは、過去数週間にわたってインフルエンザの活動性に変化はなく、大部分はインフルエンザA(H3N2)でした。5月中旬から6月第1週にインフルエンザが陽性であった検体は7.5%でした。インフルエンザが陽性であった検体のうち、71.5%がインフルエンザA(H3N2)でした。

・ ヨーロッパ

ヨーロッパにおけるインフルエンザの活動性は低下し続けており、シーズンオフの水準となりました。ILIと急性呼吸器感染症(ARI)の受診率はヨーロッパのすべての国で低い水準となりました。定点機関で採取された98検体のうち、2検体(2%)がインフルエンザ陽性でした。5月20日以降、インフルエンザウイルスは116株検出されたと報告されており、66%がインフルエンザB型でした。

・ アフリカ北部と西アジア

アフリカ北部と西アジアにおけるインフルエンザの活動性はシーズンオフの水準のようです。西アジアのほとんどの地域では、シーズン中インフルエンザA(H1N1)pdm09が主に検出されました。しかし、ヨルダンとパキスタンでは、特に最近数週間は、主にインフルエンザB型が検出されたと報告されました。

・北アジア

アジアの温帯地域では、ほとんどの地域でインフルエンザの活動性が過去数週間以上にわたって徐々に減少し、シーズンオフの水準に達しつつあります。

中国では、5月30日現在、インフルエンザA(H7N9)の患者が132人報告されており、そのうち39人が死亡しました。詳細な情報と更新情報は、WHOのウェブサイト参照して下さい。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域(中米、カリブ海諸国)

カリブ海諸国と中米におけるインフルエンザの活動性は、前週に比べ、依然として低いと同様の水準です。しかし、キューバとドミニカ共和国では、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスの高い活動性が報告されました。この地域の国での急性呼吸器疾患は、依然として低いと予想された範囲内であり、重症急性呼吸器感染症(SARI)による入院の割合は2.6%でした。

キューバでは、インフルエンザの活動性が増加したと報告されており、5月中旬以降、462検体のうち35.7%がインフルエンザ陽性でした。インフルエンザA型のうち、96%がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、残りがインフルエンザA(H3N2)でした。キューバでは、ライノウイルスとパラインフルエンザウイルスも流行しています。ドミニカ共和国でも、インフルエンザの活動性が増加しており、インフルエンザが陽性となった検体の割合が、4週間前には14.6%でしたが、最近の週では、218検体のうち75%に増加し、検出されたのは、ほとんどがインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスでした。1月以降、インフルエンザA(H1N1)pdm09による死亡者が9人報告されましたが、そのうち4人は妊婦でした。

南米の熱帯地域におけるARIの活動性は、依然として同様の水準ですが、コロンビアとベネズエラでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09の伝播が続いています。

コロンビアでは、SARIによる入院とSARIによるICU(集中治療室)への入院割合が増加し続けています。過去2週間に436検体が解析され、呼吸器疾患を起こすウイルスが検出された割合は27%でした。検出された呼吸器疾患を起こすウイルスのうち、48%が、インフルエンザA(H1N1)pdm09でした。

ベネズエラでは、ARIの活動性が増加し、この時期における流行閾値を超え、過去数4週間で肺炎患者も増加傾向にあるものの予想された範囲内であると報告されました。インフルエンザが陽性となった検体のうち、84.2%がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、次いでインフルエンザA(H3N2)が多く検出されたと報告されました。

・中部アフリカ

中部アフリカの熱帯地域の多くの国では、過去数週間にわたって、活動性は低い水準と報告されていますが、カメルーン、コートジボワール、ケニア、マダガスカルは例外です。カメルーンとコートジボワールではインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型がともに伝播しており、ケニアでは、インフルエンザB型とインフルエンザA(H3N2)が検出されています。

・アジアの熱帯地域

東南アジアにおけるインフルエンザの伝播は徐々に減少し、南アジアにおける伝播は過去数週間にわたって低い水準が続いています。しかし、どちらの地域も、検査されたウイルスのうち、インフルエンザA型の占める割合がインフルエンザB型に比べて増加しました。東南アジアにお

けるインフルエンザの活動性は、依然として低い水準ですが、ベトナムでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスの増加が報告されました。南アジアでは、スリランカで、過去数週間にわたって、インフルエンザA型の活動性がインフルエンザB型に比べて増加しました。インドでは、インフルエンザA(H3N2)が優勢で、数週間前に比べ、インフルエンザA(H1N1)pdm09は非常に少数でした。イランとパキстанは低い水準の活動性です。中国南部におけるインフルエンザの活動性も依然として低い水準です。

【南半球の温帯地域】

・南米の温帯地域

南米の温帯地域では、急性呼吸器疾患の活動性は増加し続けており、南回帰線以南の地域では、流行閾値に近づいているか、閾値に達したと報告されました。ILIとSARIの活動性の増加は、主にRSウイルスによるものですが、インフルエンザが陽性になる割合も増加しており、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)が検出されています。

アルゼンチンにおけるインフルエンザの活動性は、この時期として予想される曲線を示しています。6月1日以降、2,445検体が解析され、このうち43%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出されました。検出されたウイルスのうち、57%がRSウイルスで、18%がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。

チリにおけるインフルエンザの活動性も増加していますが、依然として、RSウイルスが高頻度に検出されています。国のILIの受診率は増加傾向を示しており、流行閾値に達しています。採取された2,405検体のうち、31%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出されました。検出されたウイルスのうち、40%がRSウイルス、18%がパラインフルエンザウイルス、17%がインフルエンザA(H1N1)pdm09、12%が亜型不明のインフルエンザA型でした。

パラグアイはILIの受診率が増加したと報告しました。6月1日以降に解析された289検体のうち、35%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出されました。検出されたウイルスのうち、76%がRSウイルス、15%がインフルエンザA(H3N2)、次いで、インフルエンザA(H1N1)pdm09が多く検出されました。SARI患者から採取された109検体のうち、RSウイルスが最も多く検出されました。

ウルグアイでは、過去数週間にわたって、SARIによる入院とSARIに関連したICUへの入院の割合が増加しました。6月1日以降に解析された46検体のうち、26%で呼吸器疾患を起こすウイルスが検出され、インフルエンザウイルスは4%でした。RSウイルスが最も多く検出されたウイルスでした。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは、ILIとSARIの患者数が増加傾向にあると報告されました。インフルエンザの活動性は4月下旬以降、増加し続けています。インフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢であり、9か所の地域の定点機関で採取された464検体の35.6%から検出されました。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリア、ニュージーランドや太平洋諸島におけるインフルエンザの活動性は、依然として低い水準と報告されました。

オーストラリアでは、6月2日から8日に受け取られたILI患者の検体数は234検体で、インフルエンザA(H1N1)pdm09が3検体、インフルエンザA(H3)が3検体、インフルエンザB型(系統不明)が1検体でした。ニュージーランドでは、6月3日から9日、インフルエンザの活動性は、依然として

閾値を下回っています。202検体のうち15検体がインフルエンザ陽性であり、インフルエンザB型(系統不明)が12検体、インフルエンザA(H1N1) pdm09が1検体、インフルエンザA型(亜型不明)が2検体でした。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新28)

2013年6月22日 WHO(GAR)

6月22日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、MERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに4人発生したとWHOに報告しました。

1人目の患者は、東部地域の43歳の女性で回復しました。その他3人の患者は、2つ前に報告(更新26)されたMERSコロナウイルスに感染した確定患者の世話をしていたターイフ(Taif)地域の医療従事者で、29歳、39歳、45歳の女性であり、アウトブレイク調査および接触者調査の一環で検出されました。これら3症例のうち2症例は無症候性で、3症例の全てがPCR検査で弱陽性でした。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は68人で、このうち38人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジア、英国からも確定患者の報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、イタリア、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新29)

2013年6月23日 WHO(GAR)

6月23日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、MERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生し、以前の確定患者1人が死亡したとWHOに報告しました。

1人目の患者は、リヤド(Riyadh)地域の41歳の女性で、確定患者との接触がありました。2人目の患者は、東部地域の32歳の男性で基礎疾患(持病)があり、重篤な状態です。

サウジアラビア保健省は、以前に報告された東部地域の確定患者で、今年4月26日に入院した患者が死亡したと追加で報告しました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は70人で、このうち39人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジア、英国からも確定患者の報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、イタリア、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新30)

2013年6月26日 WHO(GAR)

6月26日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビア保健省は、MERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに7人発生し、以前の確定患者1人が死亡したと公表しました。

新たな確定患者のうち4人はリヤド(Riyadh)と東部地域の確定患者の接触者で、年齢は7歳から15歳で、無症状です。他に、無症状の患者が2人報告されており、これらの患者は東部地域とアル・アフサ(Al-Ahsa)の女性で医療従事者です。7人目の患者は東部地域の50歳の女性で、現在、肺疾患で入院していますが、容態は安定していると考えられています。

また、保健省は、以前に報告された東部地域の確定患者(6月23日付で報告された32歳の男性)が死亡したと公表しました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は77人で、このうち40人が死亡しました。

WHOは、中東のヨルダン、カタール、サウジアラビア、アラブ首長国連邦から確定患者の報告を受けました。また、フランス、ドイツ、イタリア、チュニジア、英国からも確定患者の報告があり、中東から治療のために搬送された患者や、中東から帰国した後に発症した患者です。フランス、イタリア、チュニジア、英国では、中東への渡航歴がなく、確定患者や疑い患者の濃厚接触者に限定的な地域内感染がみられました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは引き続き、状況を注視しています。

中東呼吸器症候群(MERS)感染症に関する暫定的サーベイランスの推奨(更新2)

2013年6月27日 WHO(GAR)

WHOは、昨年、MERS(マーズ)コロナウイルス(MERS-CoV)のサーベイランスに関するガイダンスを公表し、そのガイダンスを更新しています。WHOは、今後も、得られた情報に基づいて推奨を更新する予定です。

このガイダンスは、WHOのホームページに掲載されている現在の患者発生報告を要約するよりも、WHOの推奨を要約しています。資源や疫学状況が異なる国でも、これらの推奨を実施する必要性について言及することが重要です。

今回の更新の主な変更点は2点あり、まず、MERS-CoVの感染を診断するためには、鼻咽頭のスワブおよび下気道からの検体を使用するように、より強い推奨を行っています。また、潜伏期間に関する情報が集積されたことを踏まえ、濃厚接触者の経過観察期間を長くしました。

・背景

MERS-CoVの人から人への感染は、家族内や医療施設内を含むいくつかの集団で報告されています。2人の医療従事者が、病院で確定患者に接触した後に感染しました。これまで、直接的に関連する集団を超えた持続的な伝播の根拠はありません。散発的に発生した患者の感染経路、人から人に感染したと考えられる患者の感染経路、ウイルスの起源は明らかではありません。

すべての確定患者に呼吸器疾患がみられ、ほとんどの患者が肺炎を発症しました。しかし、免疫不全状態にあった患者1人は、最初の症状は発熱と下痢で、偶然、X線写真で肺炎が発見されました。確定患者の半数は死亡しました。臨床経過中の合併症には、人工呼吸管理を要する呼吸不全を伴う重症肺炎、急性呼吸窮迫症候群(ARDS)、多臓器不全、人工透析を要する腎不全、消費性凝固障害、心膜炎がみられました。患者のうち数人には、臨床経過中に下痢などの胃腸症状がみられました。感染した時点で免疫不全状態にあった患者1人の症状は主に胃腸症状と所見でした。インフルエンザウイルス、単純ヘルペスウイルス、肺炎球菌などとの重複感染がみられました。

MERS-CoVの感染を検出するためには、鼻咽頭のスワブは下気道からの検体ほど感度が高くないことを示唆する根拠が増加しています。確定患者の濃厚接触者で経過観察中に肺炎を発症した患者では、鼻咽頭のスワブによる検査では陰性でした。さらに、鼻咽頭のスワブによる検査が陰性で、下気道の検体による検査で陽性となった患者が数人いました。疫学データや臨床データに基づき、感染が強く疑われる患者について、単回の鼻咽頭のスワブによる検査が陰性というだけで感染を除外することは適切でないかもしれません。

曝露が判明した患者や、強く疑われる患者の潜伏期間は、一般的には1週間未満です。しかし、少なくとも1人の患者が、発症前の9日から12日間に曝露を受けたことが判明しています。この期間を超えて曝露を受けた患者が少なくとも少数であることを示唆する根拠がさらに集積するまでは、潜伏期間は1週間を超え、2週間未満とするのがもっともです。

・検体採取に関する推奨

更なる情報が入手されるまでは、喀痰、気管内吸引、気管支肺胞洗浄のような、下気道の検体を採取するよう、強く推奨します。患者は下気道感染の症状や所見を呈しておらず、下気道からの検体採取ができず、臨床的にも適応がない場合以外は、鼻咽頭と中咽頭の検体を採取すべきです。この2検体は1つの検体保管容器に入れ、一緒に検査することができます。MERS-CoVの感染が強く疑われる患者で、鼻咽頭のスワブによる最初の検査が陰性であれば、下気道の検体を用いて再検査すべきです。もし、下気道の検体が採取できなければ、再度、鼻咽頭と中咽頭の検体を採取して検査すべきです。適切な下気道の検体が採取できない患者には、鼻咽頭洗浄や、急性期と回復期のペア血清などの補助検査が検討されます。血液、尿、便などの他の体液でもウイルスが検出されていますが、診断に関する有用性は确实ではありません。

・サーベイランスの目的

このガイダンスに示されている強化の主な目的は下記の通りです。

1. 早期に持続的な人 - 人感染を検出すること。
2. ウイルスに感染するリスクのある地域を確定すること。

さらに、臨床学的及び疫学的調査は以下のために必要です。

1. 潜伏期間や症状の程度、疾患の自然経過など、感染症の重要な臨床学的特徴を確定すること。
2. ウイルスへの曝露、リスクファクター、二次発病率、感染経路などウイルスの重要な疫学的特徴を確定すること。

・ MERS-CoVについて調査や検査をすべき者

1. 急性呼吸器感染症の者で、発熱と咳がみられるかみられず、かつ、臨床学的または肺浸潤の放射線学的証拠から肺実質疾患(例えば肺炎やARDS)の症状がみられ、入院を要する者。さらに、臨床医は、免疫不全状態にある患者では、非典型的な症状を示す可能性があることに注意すること。これらの患者で、以下の1項目以上に該当するもの。
 - ・ 居住地や渡航歴にかかわらず、14日以内にクラスター(集団)^{*} で発生し、他の原因が確認されていない場合。***
 - ・ 居住地や渡航歴にかかわらず、特に集中治療を必要とする重症急性呼吸器感染症の患者の診療に従事した医療従事者で発生し、他の原因が確認されていない場合。***
 - ・ 発症前14日以内に中東** に渡航したことがある者で、他の原因が確認されていない場合。***
 - ・ 居住地や渡航歴にかかわらず、適切な治療にもかかわらず予想外に重篤な臨床経過に進展した場合。その他の原因があっても、その原因だけでは説明のつかない場合を含む。
2. MERS-CoV感染症の確定患者または疑い患者が発症している間の濃厚接触者**** で、接触後14日以内に何らかの急性呼吸器症状を示した者。
3. 中東の国では、最低限の標準的なサーベイランスとして、人工呼吸管理を要する重症呼吸器疾患の患者の検査を実施すべきです。この最低基準には、上記に示した3つのカテゴリー(原因不明の肺炎またはARDSのクラスター、呼吸器疾患で入院を要する患者の診療に従事した医療従事者、通常でない病状と臨床経過がみられる患者)すべてに対する検査が含まれます。しかし、中東の国では、通常の定点における呼吸器疾患のサーベイランスと肺炎の診断パネルの一部として、現在の検査のアルゴリズムによるMERS-CoVの検査の追加実施が強く勧められます。地域に対応能力がある場合には、軽症でも入院を要する原因不明の市中肺炎の検査の実施も検討するよう勧められます。

WHOはこの事例に関して、入国地点での特別なスクリーニングを推奨していませんし、渡航や貿易の制限も推奨していません。

・ 報告

WHOは、疑い患者や確定患者について、確認後24時間以内に、管轄するWHO地域事務局の国際保健規則の地域連絡窓口担当者を通して報告するように求めています。

・新種のコロナウイルスに感染した患者の周囲の調査

MERS-CoVによる感染症の臨床学的特徴や疫学的特徴に関して明らかになっていない重要な点は、患者の周囲を慎重かつ詳細に調査することで明らかになることが期待されます。(検討すべき調査のタイプに関する指針に関する詳細な情報は原文をご覧ください。)WHOは、現在、関係機関とともに、標準的な調査実施計画とデータを集める方法を開発しており、完成後に公表される予定です。現在の調査に関する推奨と実施要領はWHOのコロナウイルスに関するホームページを確認してください。

* 集団(クラスター)は、14日間に2人以上が発症し、その集団が、学校の教室、職場、家族、親類、病院、他の居住施設、兵舎、キャンプ場といった特別な環境と関係していることと定義されます。

** 中東に属する国については、下記リンクを参照してください。
<http://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/mideastr.pdf>

*** 検査は市中肺炎の管理に関する地域の指針に沿って実施されるべきです。他の原因として、肺炎連鎖球菌(*Streptococcus pneumoniae*)、B型インフルエンザ桿菌(*Haemophilus influenzae* type b)、レジオネラニューモフィラ菌(*Legionella pneumophila*)や、その他の原発性の細菌性肺炎、インフルエンザ、RSウイルスなどが含まれます。

**** 濃厚接触者は以下の者を含みます。

- ・患者の診療に従事した医療従事者や、患者の世話をした家族、その他、同様に身体的な接触があった者。
- ・疑い患者や確定患者が発症していた期間に同じ場所にいた(例えば、生活を共にしていたり、訪問したりしていた)人。



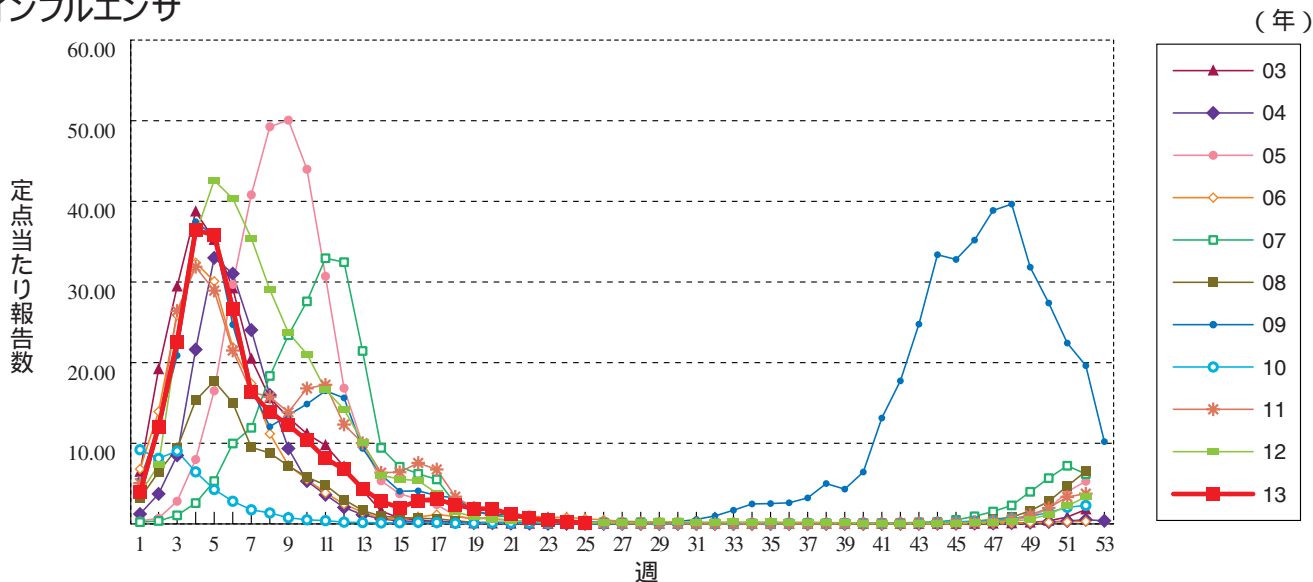
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

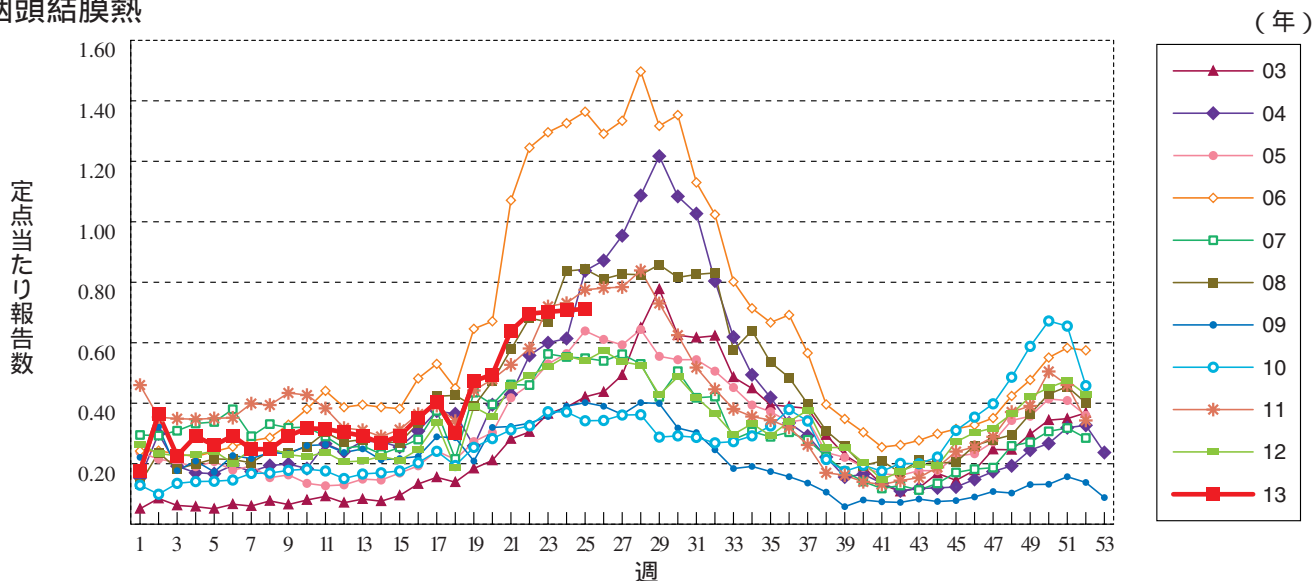


グラフ総覧(25週)

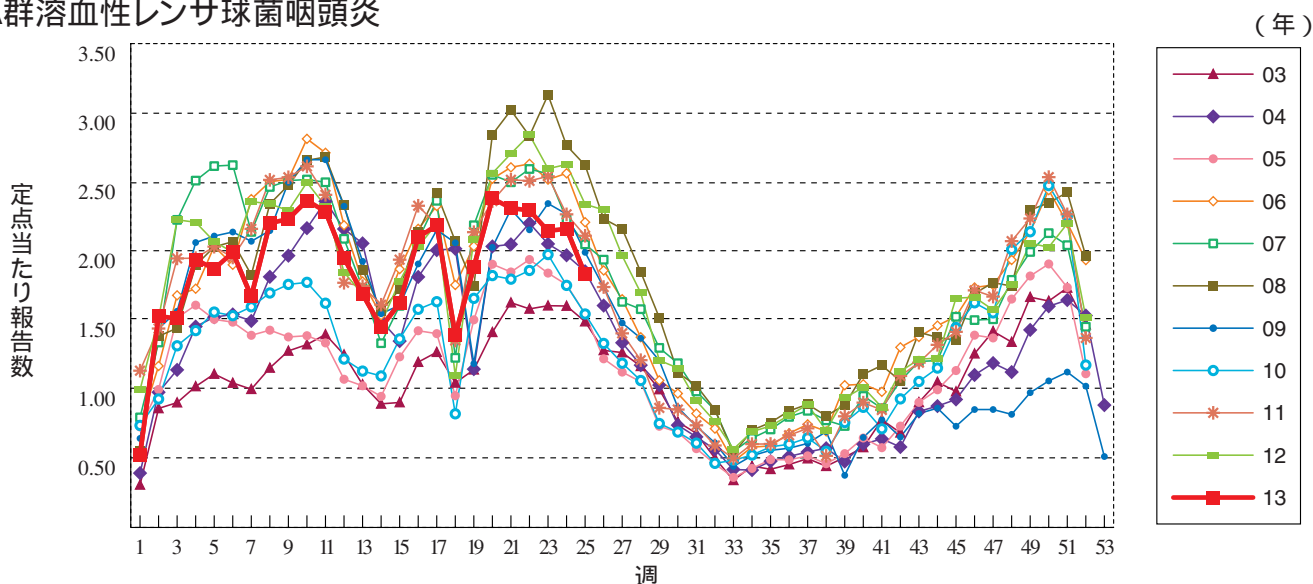
インフルエンザ



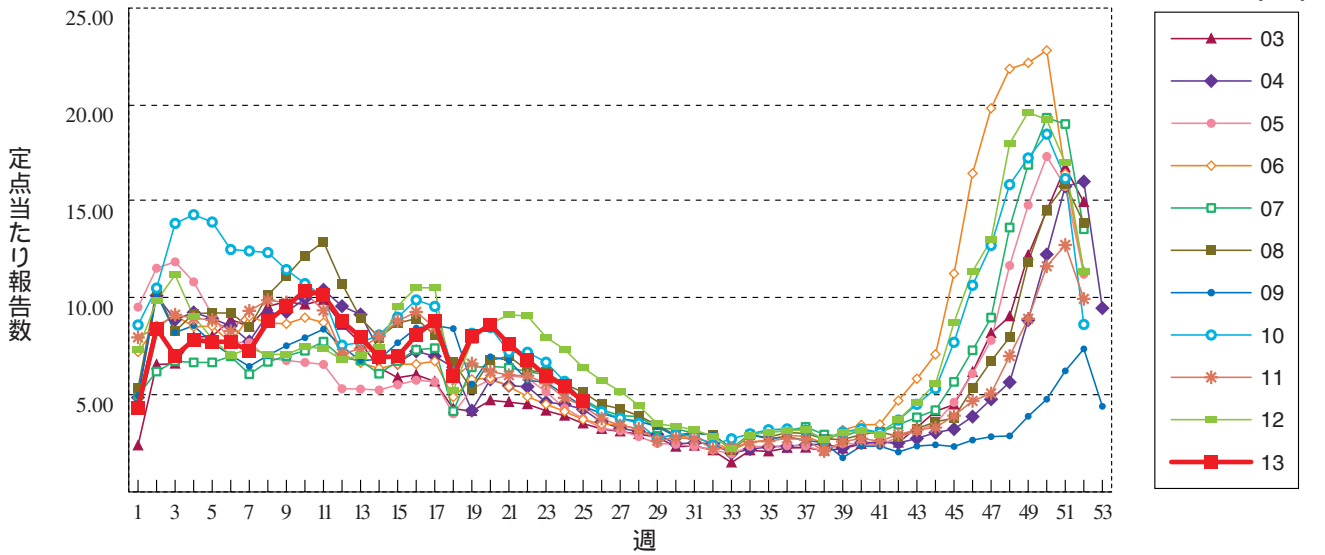
咽頭結膜熱



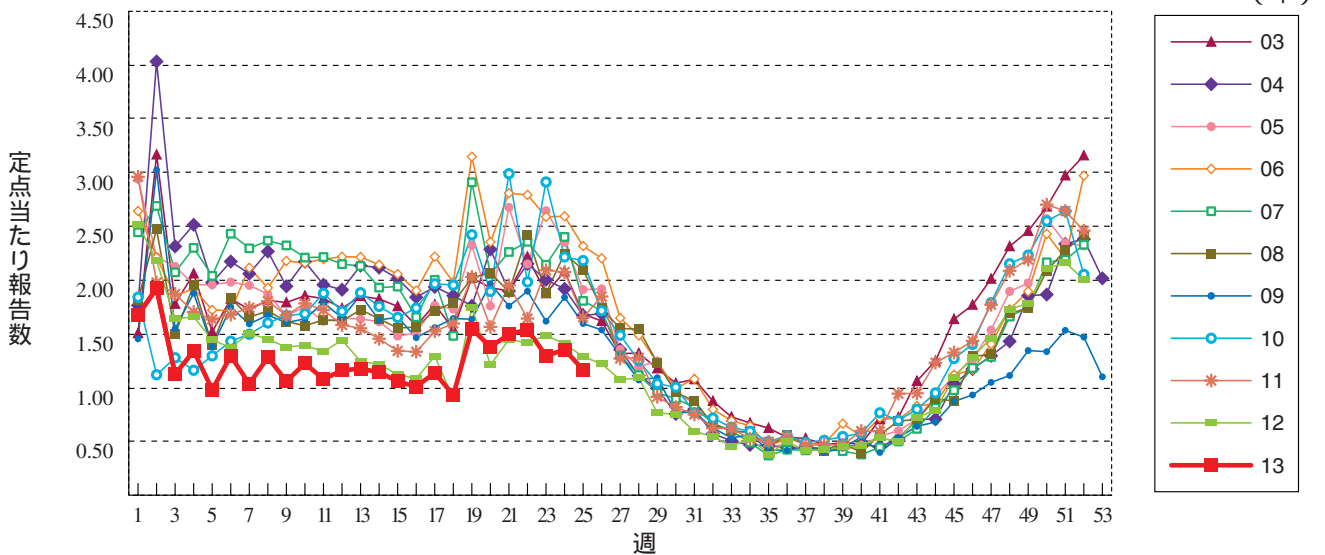
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



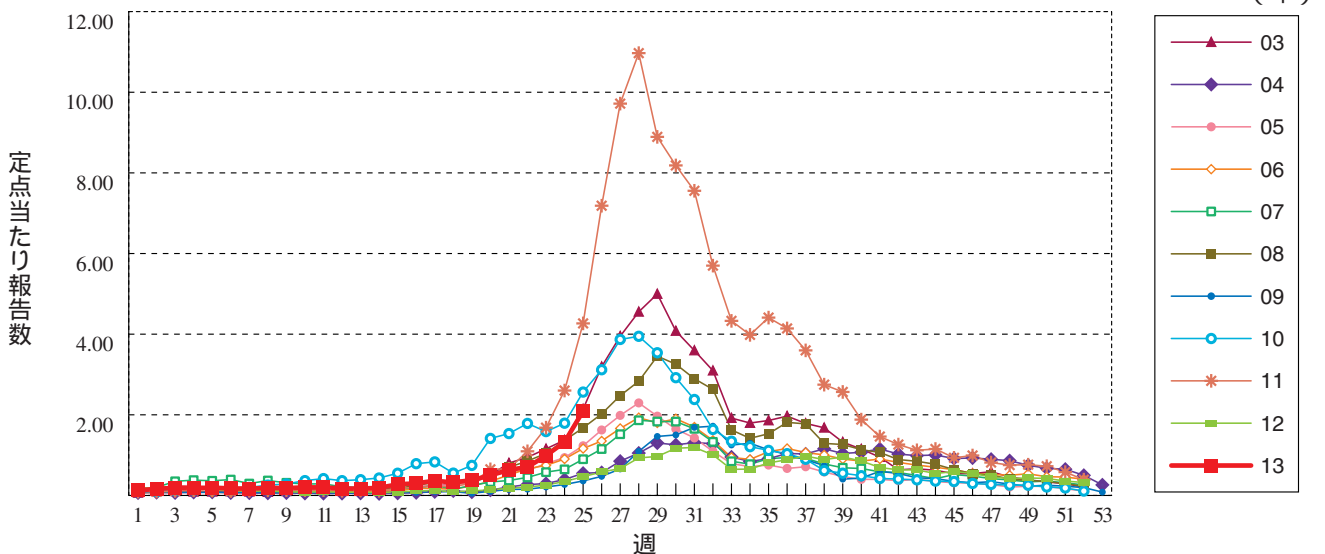
感染性胃腸炎



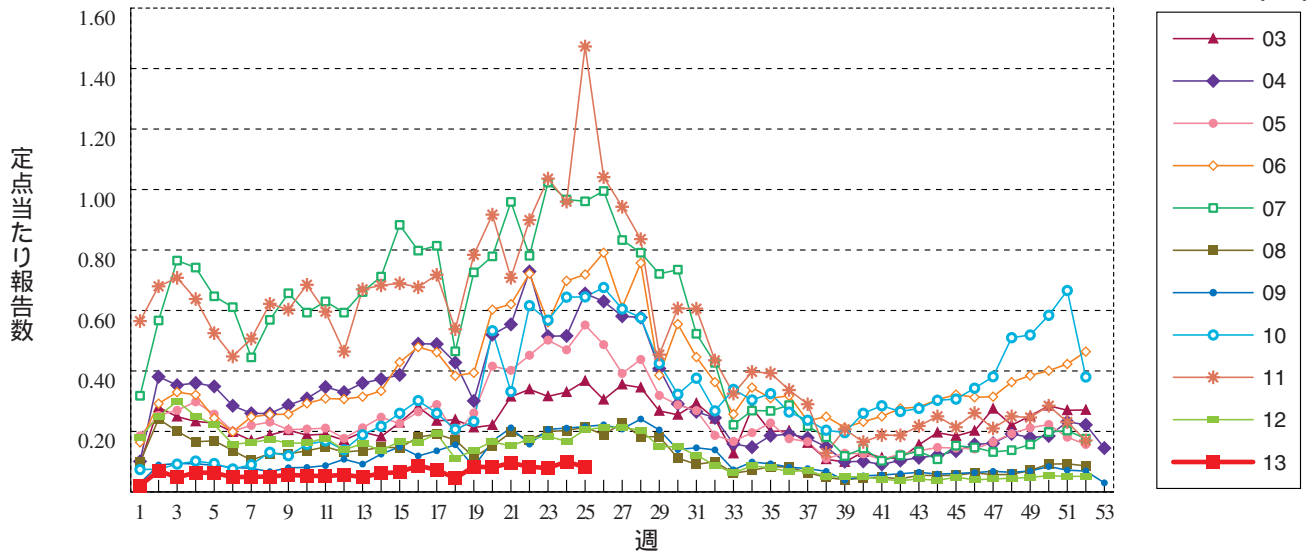
水痘



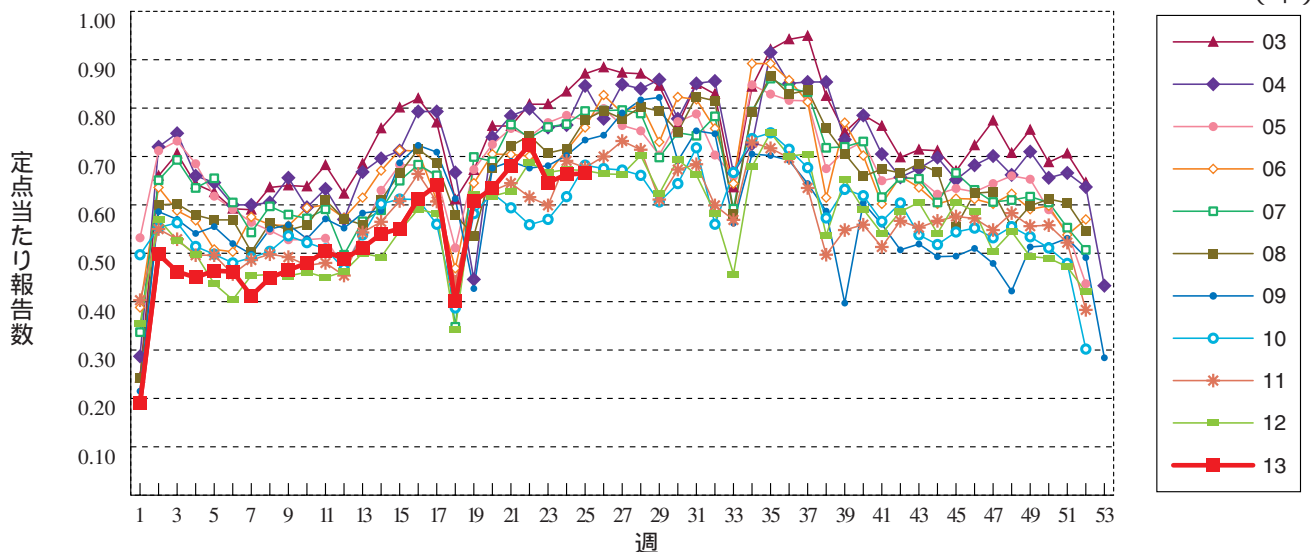
手足口病



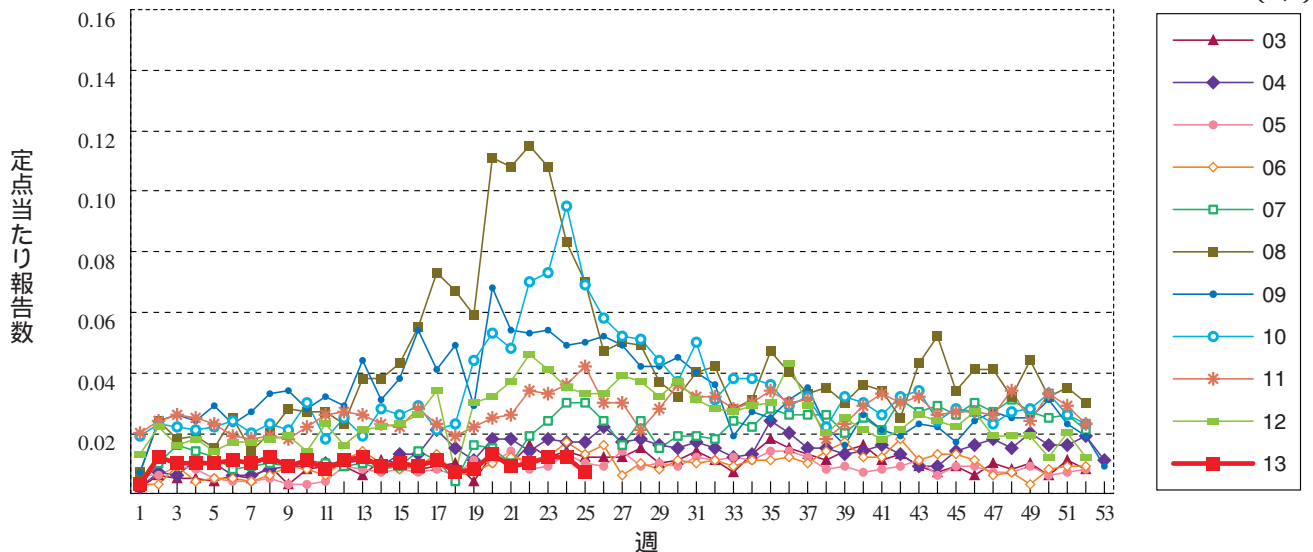
伝染性紅斑



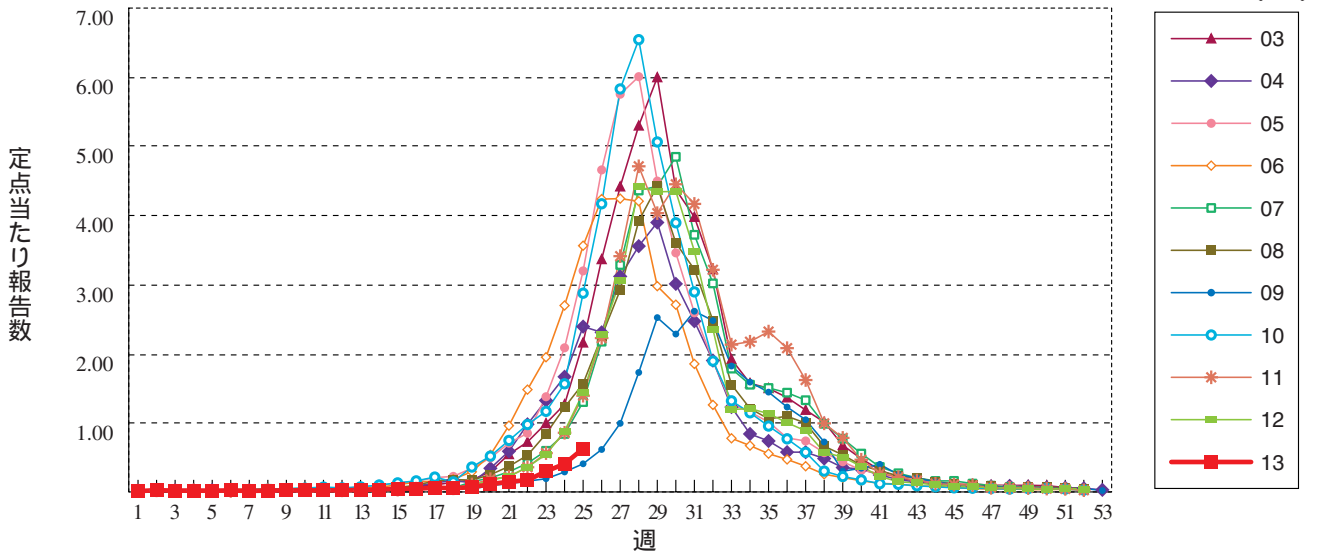
突発性発しん



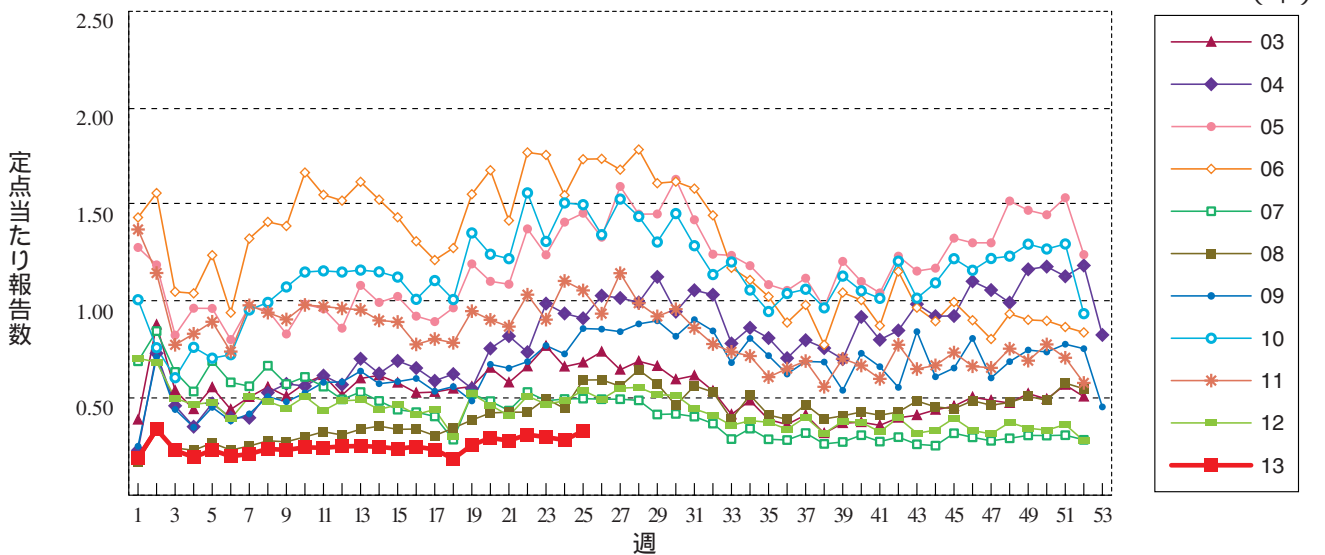
百日咳



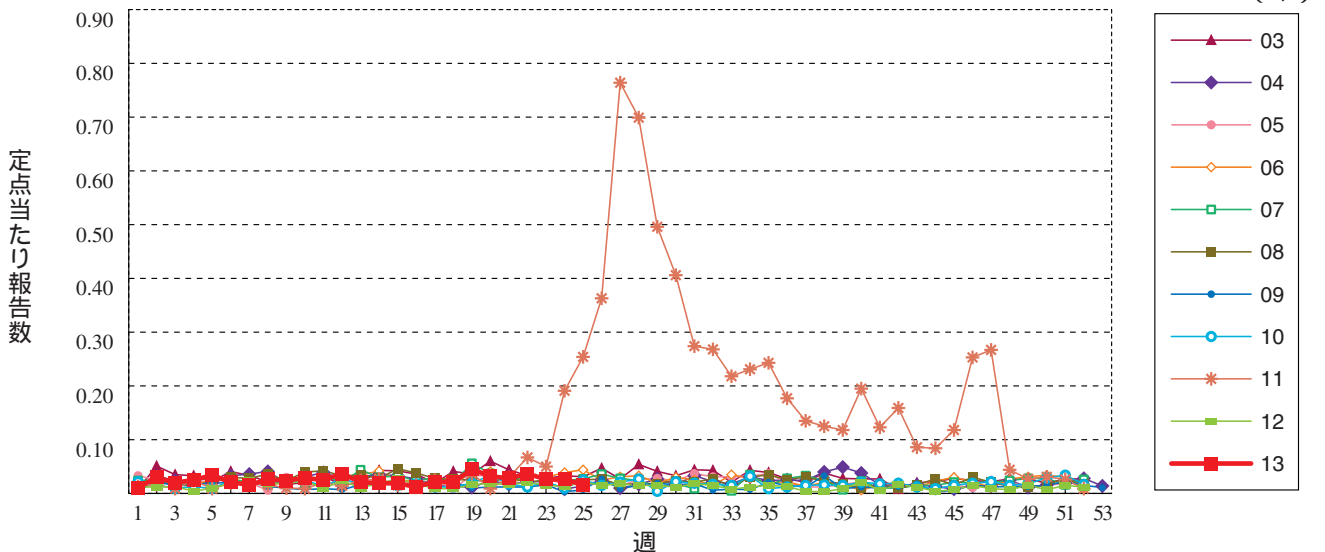
ヘルパンギーナ



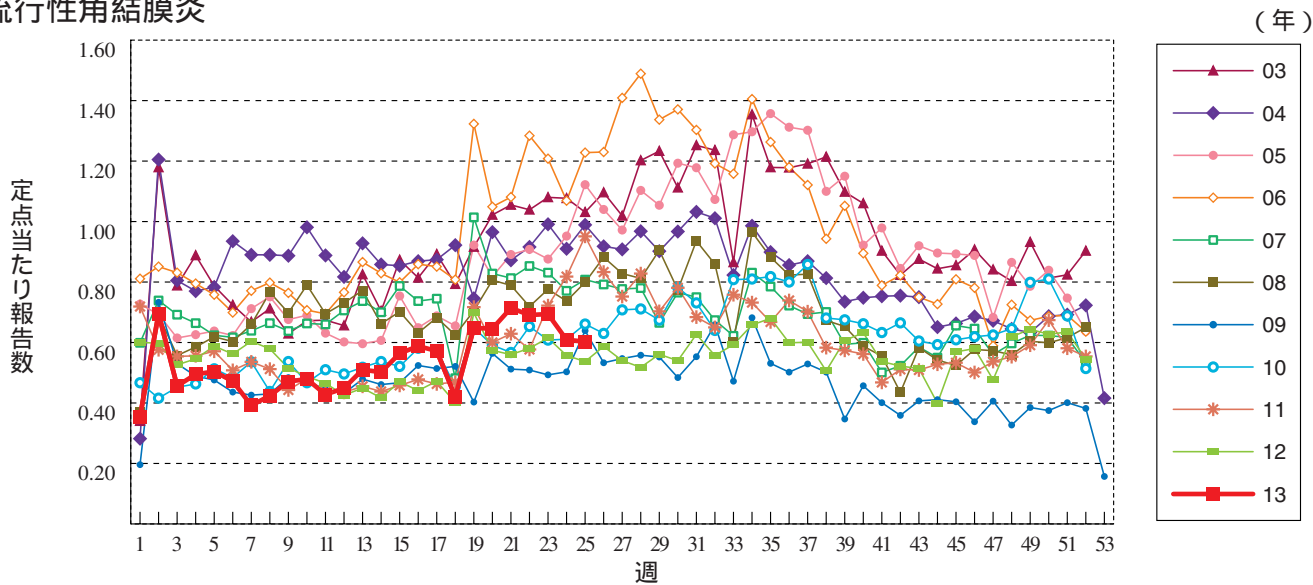
流行性耳下腺炎



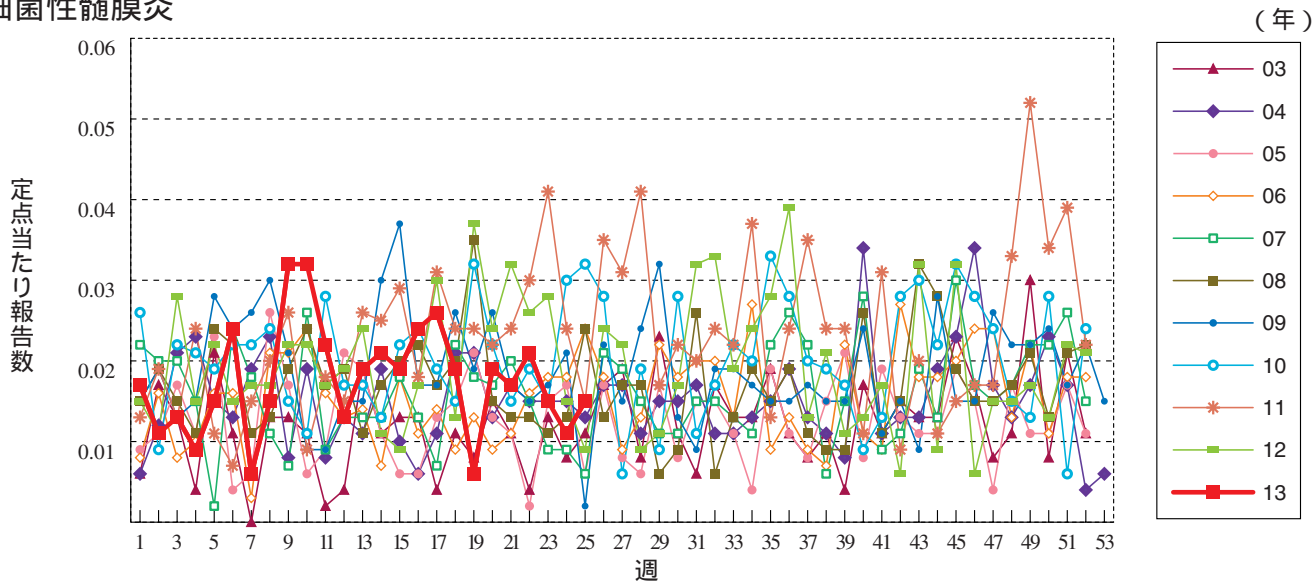
急性出血性結膜炎



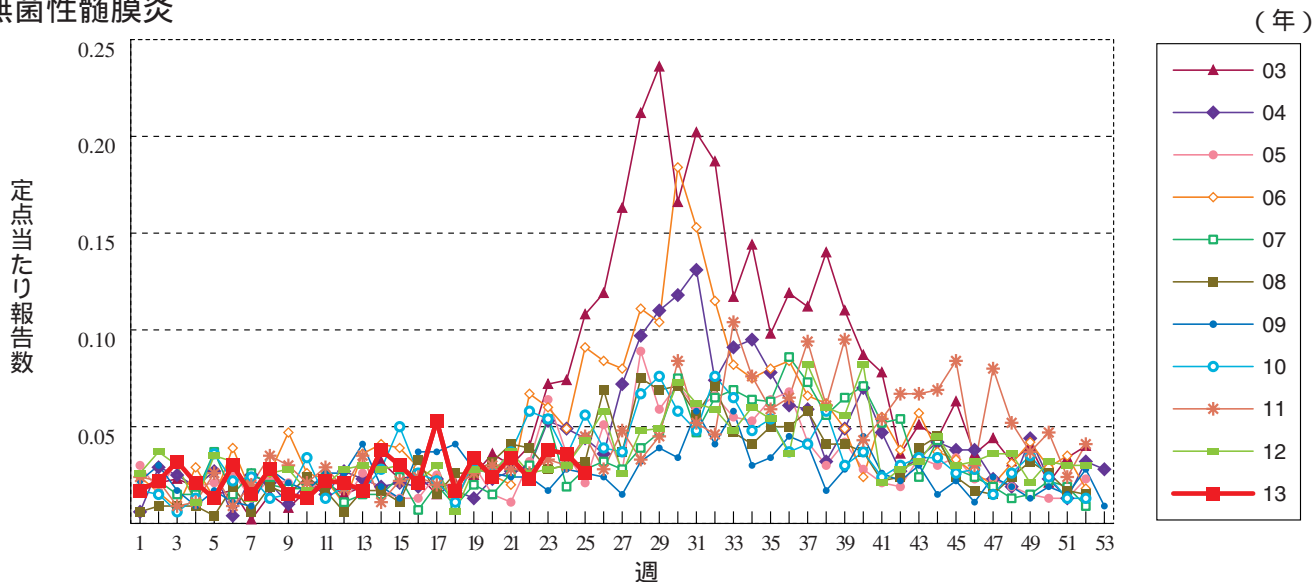
流行性角結膜炎



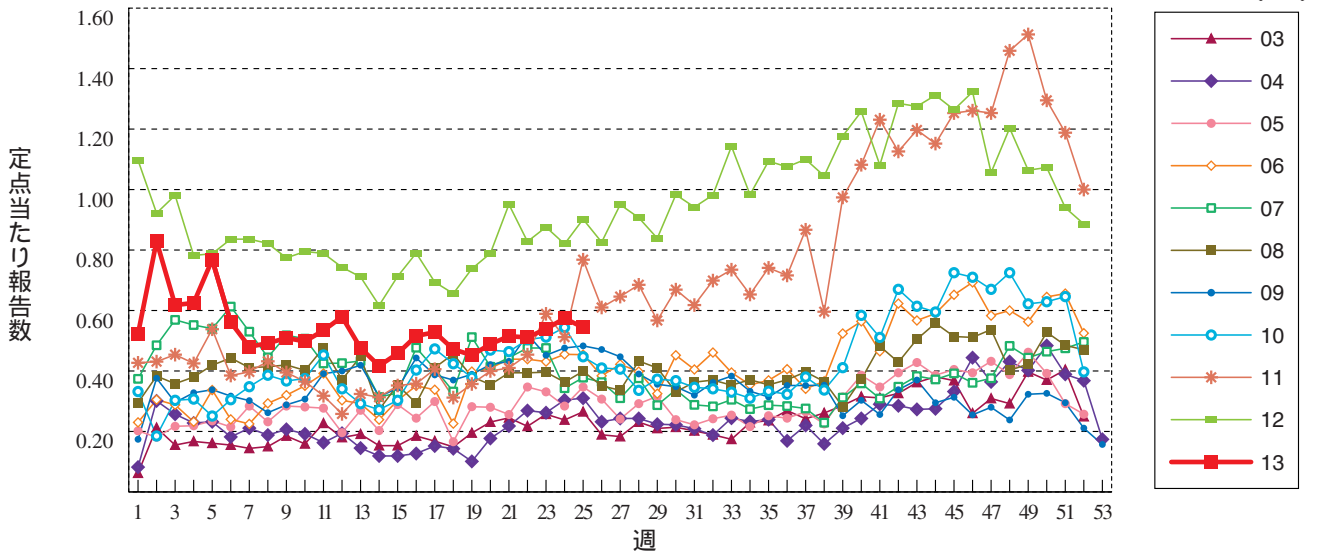
細菌性髄膜炎



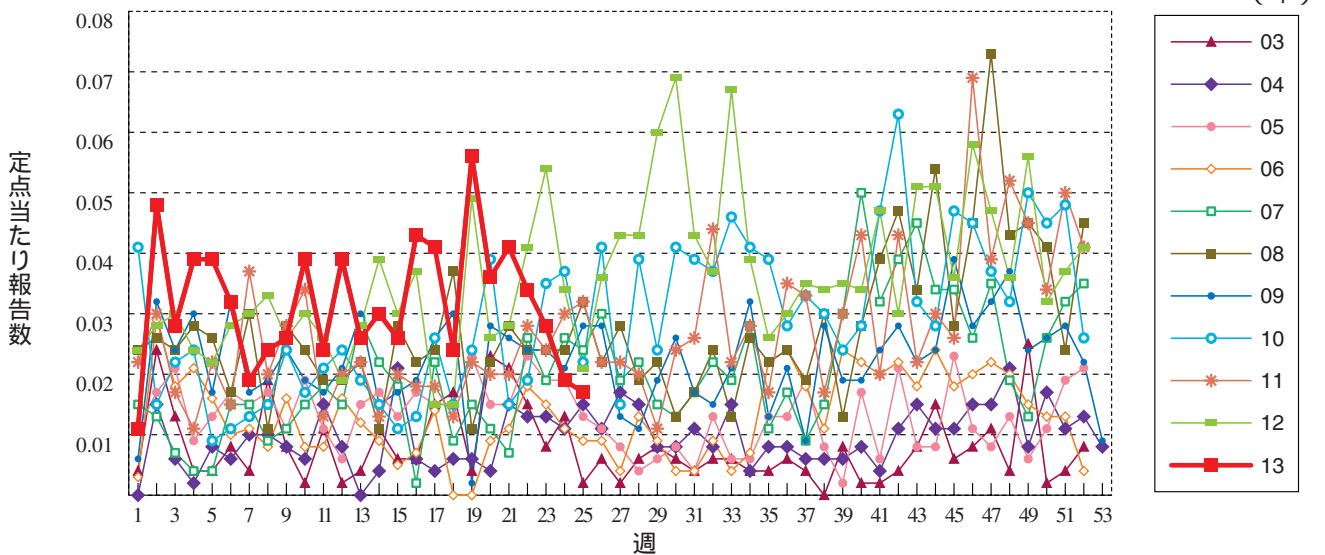
無菌性髄膜炎



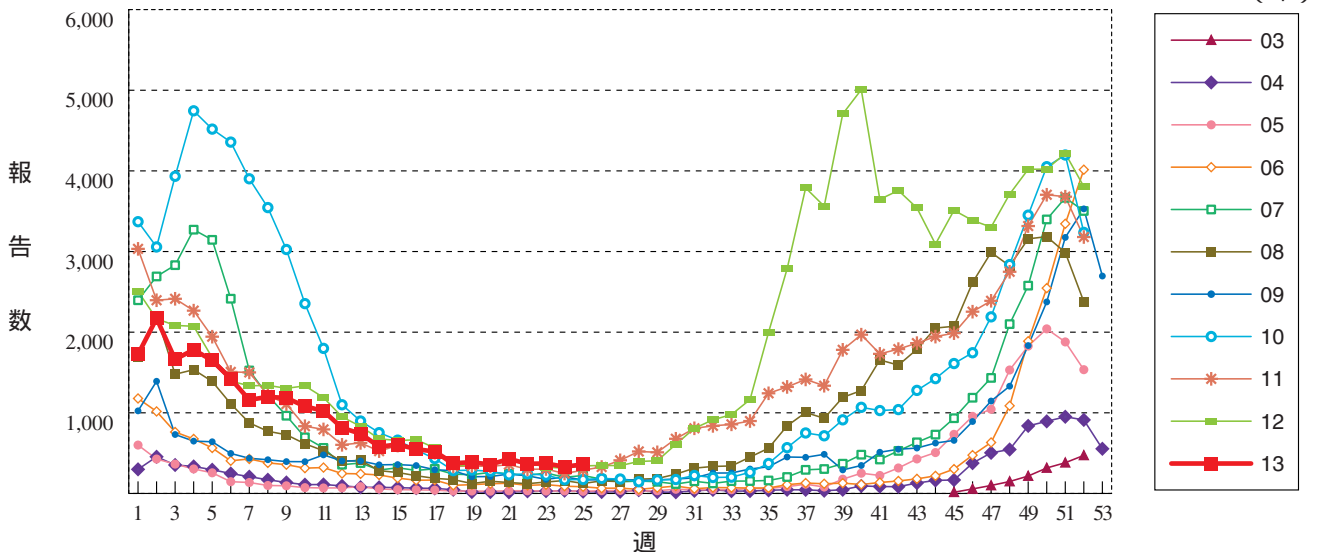
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





25週のデータ

注) 表中の報告数は6月26日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年25週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440	11932
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	336
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	154
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	89
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	151
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	117
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	152
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	222
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	143
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	110
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	591
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	565
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91	1836
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	813
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	174
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	91
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	69
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	46
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	161
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	215
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	311
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	852
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	151
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	139
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	278
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	807
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	459
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	159
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	149
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	57
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	156
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	247
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	115
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	66
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	98
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	88
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	510
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	92
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	157
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	106
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	142
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	123
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	133
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	231

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	4	64	78	596	2	29	-	32	4	66
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	1	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	7	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	1	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	16	2	2	-	1	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	29	-	2	-	1	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	8	62	-	13	-	14	2	19
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	26	-	3	-	6	1	4	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	25	-	-	-	1	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	14	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	33	-	1	-	2	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	9	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	14	-	2	-	1	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	5	21	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	47	-	3	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	11	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	6	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	38	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	7	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	4	82	-	8	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	3	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	108	7	79	-	-	-	-	-	-	4	29	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	1	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	21	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年25週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	16	328	-	4	-	-	12	479	3	124	2	196
北海道	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	13	-	2	-	12	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	9	-	4	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	8	1	1	1	17	
栃木県	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	5	-	-	-	11	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	1	18	-	2	1	17
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	1	32	-	1	-	15
東京都	-	-	-	-	-	1	1	27	-	-	-	-	5	103	-	34	-	25
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	51	-	10	-	7	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	9	-	1	-	9	
富山県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	5	-	3	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	5	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	9	-	3	-	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	12	-	3	-	6	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	25	-	6	-	17	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4	-	1	-	2	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	8	-	5	-	2	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	3	44	-	12	-	17
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	21	-	6	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	5	1	2	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	5	-	5	-	2	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	1	8	-	6	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	5	-	1	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	19	-	3	-	6	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	7	-	2	-	5	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-	2	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	-	1	-	3	

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	3	86	1	104	16	719	2	35	2	41	-	10	10	398	1	7
北海道	-	1	-	1	-	2	-	15	-	1	-	1	-	-	-	17	-	-
青森県	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	2	-	7	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	2	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
茨城県	-	-	1	2	-	3	1	9	-	-	-	3	-	-	1	13	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	2	1	10	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-
埼玉県	-	-	1	5	-	2	-	23	-	1	-	-	-	1	1	22	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	4	-	35	-	3	1	2	-	-	-	19	-	-
東京都	-	1	-	7	-	18	3	217	-	12	-	5	-	5	2	44	1	3
神奈川県	-	-	-	5	-	10	4	58	1	2	-	4	-	-	1	42	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
石川県	-	-	-	3	-	2	1	4	-	-	1	1	-	-	1	6	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	7	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
岐阜県	-	-	-	4	-	2	-	9	-	1	-	-	-	-	1	12	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	5	-	24	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-
愛知県	-	-	-	8	-	5	1	37	-	-	-	5	-	-	1	36	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	2	-	7	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	5	-	4	2	96	-	1	-	1	-	-	-	13	-	1
兵庫県	-	-	-	4	-	10	1	26	1	3	-	3	-	-	-	16	-	-
奈良県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-
広島県	-	-	-	3	-	1	-	19	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	-	-	3	1	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	4	-	3	-	23	-	2	-	4	-	1	1	25	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	1	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

**髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年25週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風 し ん		麻 し ん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄 膜 炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	15	509	3	57	-	-	2	32	504	11489	7	152	-	-	-	2
北海道	-	15	-	3	-	-	-	1	1	86	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	22	-	1	-	-	-	-	7	79	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	2	-	-	-	-	1	26	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	7	-	2	-	-	-	1	3	102	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	4	-	2	-	-	1	1	2	39	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	4	1	4	-	-	-	-	6	47	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	12	1	1	-	-	-	5	22	501	-	21	-	-	-	-
千葉県	2	21	-	2	-	-	-	1	22	591	-	13	-	-	-	-
東京都	1	179	-	3	-	-	1	6	88	2798	1	48	-	-	-	-
神奈川県	1	26	-	4	-	-	-	1	55	1369	3	28	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	3	39	-	1	-	-	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	3	24	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	2	-	-	-	-	3	50	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	9	-	2	-	-	-	1	6	127	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	23	-	-	-	-	-	6	20	236	-	6	-	-	-	-
三重県	1	4	-	-	-	-	-	-	7	70	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	12	85	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	1	-	-	-	-	11	207	1	4	-	-	-	-
大阪府	3	62	-	3	-	-	-	4	120	2601	1	16	-	-	-	1
兵庫県	1	20	-	1	-	-	-	-	37	960	-	5	-	-	-	-
奈良県	-	2	-	1	-	-	-	-	6	153	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	-	10	183	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	3	40	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	1	3	60	-	2	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	-	6	77	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-
香川県	1	12	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
高知県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	23	1	2	-	-	-	2	19	218	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	2	14	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	4	-	1	-	-	-	1	1	60	-	-	-	-	-	-
大分県	1	2	-	2	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	18	336	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	インフルエンザ*		RSウイルス 感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		
	報告数	定点当り	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	857	0.17	361	2244	0.71	5765	1.83	14731	4.68	3675	1.17	6589	2.09	259	0.08	2094	0.66		
北海道	16	0.07	68	153	1.08	401	2.82	607	4.27	216	1.52	5	0.04	4	0.03	41	0.29		
青森県	39	0.61	7	5	0.12	40	0.98	79	1.93	32	0.78	30	0.73	-	-	21	0.51		
岩手県	7	0.11	1	40	1.00	72	1.80	139	3.48	51	1.28	3	0.08	3	0.08	16	0.40		
宮城県	7	0.08	6	27	0.47	110	1.90	259	4.47	105	1.81	39	0.67	15	0.26	32	0.55		
秋田県	-	-	4	20	0.57	30	0.86	101	2.89	23	0.66	2	0.06	1	0.03	17	0.49		
山形県	3	0.06	4	16	0.53	80	2.67	185	6.17	30	1.00	16	0.53	3	0.10	23	0.77		
福島県	15	0.20	15	17	0.38	81	1.80	121	2.69	74	1.64	18	0.40	1	0.02	20	0.44		
茨城県	19	0.16	5	32	0.43	161	2.15	469	6.25	65	0.87	81	1.08	5	0.07	37	0.49		
栃木県	5	0.07	3	13	0.27	66	1.38	105	2.19	48	1.00	74	1.54	1	0.02	23	0.48		
群馬県	9	0.09	-	28	0.47	99	1.65	287	4.78	32	0.53	27	0.45	-	-	41	0.68		
埼玉県	15	0.06	13	144	0.91	400	2.53	921	5.83	177	1.12	413	2.61	19	0.12	129	0.82		
千葉県	34	0.16	8	99	0.74	345	2.57	636	4.75	193	1.44	241	1.80	11	0.08	83	0.62		
東京都	28	0.07	24	258	0.99	607	2.33	1240	4.75	297	1.14	536	2.05	39	0.15	206	0.79		
神奈川県	13	0.04	7	112	0.55	348	1.71	910	4.46	219	1.07	361	1.77	32	0.16	159	0.78		
新潟県	10	0.10	6	45	0.74	196	3.21	283	4.64	107	1.75	113	1.85	21	0.34	46	0.75		
富山県	10	0.21	2	26	0.90	70	2.41	161	5.55	53	1.83	78	2.69	38	1.31	14	0.48		
石川県	-	-	4	35	1.21	87	3.00	117	4.03	42	1.45	19	0.66	-	-	23	0.79		
福井県	5	0.16	2	13	0.59	66	3.00	152	6.91	23	1.05	28	1.27	-	-	10	0.45		
山梨県	3	0.08	-	3	0.13	59	2.46	96	4.00	9	0.38	63	2.63	2	0.08	14	0.58		
長野県	2	0.02	-	9	0.17	144	2.67	285	5.28	76	1.41	21	0.39	2	0.04	27	0.50		
岐阜県	55	0.63	2	42	0.79	57	1.08	153	2.89	35	0.66	54	1.02	1	0.02	27	0.51		
静岡県	25	0.18	11	83	0.93	123	1.38	369	4.15	47	0.53	121	1.36	4	0.04	65	0.73		
愛知県	16	0.08	17	98	0.54	206	1.14	773	4.27	162	0.90	141	0.78	9	0.05	119	0.66		
三重県	11	0.15	-	21	0.47	42	0.93	190	4.22	25	0.56	176	3.91	2	0.04	32	0.71		
滋賀県	-	-	-	33	1.03	32	1.00	100	3.13	46	1.44	49	1.53	-	-	14	0.44		
京都府	3	0.02	-	17	0.23	95	1.27	320	4.27	82	1.09	64	0.85	-	-	40	0.53		
大阪府	19	0.06	18	131	0.66	439	2.21	1026	5.16	180	0.90	370	1.86	13	0.07	123	0.62		
兵庫県	8	0.04	4	84	0.65	118	0.91	754	5.84	152	1.18	165	1.28	3	0.02	83	0.64		
奈良県	5	0.09	3	18	0.51	20	0.57	95	2.71	18	0.51	47	1.34	-	-	15	0.43		
和歌山県	-	-	-	6	0.20	15	0.50	73	2.43	30	1.00	18	0.60	-	-	18	0.60		
鳥取県	9	0.31	-	6	0.32	54	2.84	115	6.05	15	0.79	108	5.68	2	0.11	10	0.53		
島根県	3	0.08	1	10	0.43	18	0.78	148	6.43	38	1.65	75	3.26	-	-	16	0.70		
岡山県	8	0.10	2	9	0.17	59	1.09	255	4.72	67	1.24	84	1.56	2	0.04	36	0.67		
広島県	-	-	4	101	1.42	116	1.63	306	4.31	59	0.83	332	4.68	-	-	43	0.61		
山口県	3	0.04	2	26	0.55	119	2.53	191	4.06	64	1.36	268	5.70	1	0.02	47	1.00		
徳島県	-	-	3	8	0.35	34	1.48	89	3.87	20	0.87	12	0.52	-	-	17	0.74		
香川県	-	-	-	8	0.27	36	1.20	149	4.97	28	0.93	20	0.67	-	-	19	0.63		
愛媛県	8	0.13	5	8	0.22	60	1.62	215	5.81	61	1.65	21	0.57	-	-	23	0.62		
高知県	-	-	-	2	0.07	10	0.33	106	3.53	42	1.40	5	0.17	-	-	16	0.53		
福岡県	30	0.15	14	144	1.20	279	2.33	621	5.18	209	1.74	847	7.06	10	0.08	103	0.86		
佐賀県	4	0.10	-	67	2.91	30	1.30	52	2.26	19	0.83	224	9.74	-	-	21	0.91		
長崎県	28	0.40	2	25	0.57	60	1.36	129	2.93	32	0.73	207	4.70	4	0.09	32	0.73		
熊本県	36	0.45	5	37	0.74	82	1.64	268	5.36	68	1.36	403	8.06	3	0.06	63	1.26		
大分県	19	0.33	2	39	1.08	58	1.61	337	9.36	80	2.22	304	8.44	2	0.06	42	1.17		
宮崎県	55	0.93	8	39	1.08	64	1.78	366	10.17	94	2.61	102	2.83	-	-	31	0.86		
鹿児島県	31	0.33	20	61	1.11	69	1.25	287	5.22	101	1.84	164	2.98	1	0.02	41	0.75		
沖縄県	241	4.16	59	26	0.76	8	0.24	91	2.68	29	0.85	40	1.18	5	0.15	16	0.47		

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	23	0.01	1975	0.63	1044	0.33	11	0.02	410	0.60	7	0.01	12	0.03	254	0.54	8	0.02
北海道	-	-	8	0.06	17	0.12	-	-	14	0.48	-	-	-	-	5	0.22	-	-
青森県	-	-	10	0.24	12	0.29	-	-	7	0.64	-	-	-	-	14	2.33	-	-
岩手県	-	-	15	0.38	20	0.50	-	-	7	0.50	1	0.05	-	-	29	1.53	-	-
宮城県	-	-	33	0.57	23	0.40	-	-	2	0.17	-	-	1	0.08	21	1.75	-	-
秋田県	-	-	-	-	22	0.63	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.38	-	-
山形県	-	-	14	0.47	27	0.90	-	-	1	0.13	-	-	-	-	6	0.60	-	-
福島県	-	-	4	0.09	41	0.91	-	-	10	0.83	-	-	-	-	14	2.00	1	0.14
茨城県	1	0.01	26	0.35	11	0.15	-	-	26	1.53	1	0.08	-	-	4	0.31	-	-
栃木県	1	0.02	9	0.19	18	0.38	-	-	3	0.25	-	-	-	-	2	0.29	2	0.29
群馬県	1	0.02	31	0.52	18	0.30	-	-	9	0.64	-	-	-	-	6	0.75	-	-
埼玉県	-	-	53	0.34	54	0.34	1	0.02	29	0.69	-	-	-	-	10	1.00	1	0.10
千葉県	-	-	59	0.44	47	0.35	-	-	22	0.67	2	0.22	-	-	3	0.33	-	-
東京都	2	0.01	183	0.70	76	0.29	-	-	31	0.82	-	-	1	0.04	13	0.54	2	0.08
神奈川県	3	0.01	104	0.51	89	0.44	1	0.02	44	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.03	13	0.21	6	0.10	1	0.10	7	0.70	-	-	-	-	5	0.38	1	0.08
富山県	-	-	26	0.90	3	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.00	-	-
石川県	-	-	7	0.24	10	0.34	-	-	3	0.43	-	-	-	-	9	1.80	-	-
福井県	-	-	14	0.64	42	1.91	-	-	3	1.00	-	-	1	0.17	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	4	0.17	6	0.25	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.20	-	-
長野県	-	-	12	0.22	4	0.07	-	-	6	0.55	-	-	-	-	13	1.18	-	-
岐阜県	-	-	20	0.38	24	0.45	-	-	5	0.45	-	-	-	-	4	0.80	-	-
静岡県	2	0.02	17	0.19	20	0.22	-	-	5	0.23	1	0.10	-	-	8	0.80	-	-
愛知県	1	0.01	40	0.22	59	0.33	-	-	8	0.24	-	-	-	-	12	0.92	1	0.08
三重県	-	-	23	0.51	9	0.20	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	44	1.38	5	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-
京都府	-	-	47	0.63	9	0.12	-	-	7	0.41	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	216	1.09	43	0.22	-	-	13	0.25	1	0.06	1	0.06	4	0.24	-	-
兵庫県	1	0.01	94	0.73	32	0.25	-	-	31	0.89	-	-	-	-	5	0.45	-	-
奈良県	-	-	16	0.46	3	0.09	-	-	3	0.33	-	-	2	0.33	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	9	0.30	5	0.17	-	-	1	0.25	-	-	-	-	5	0.45	-	-
鳥取県	-	-	19	1.00	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	8	0.35	2	0.09	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.38	-	-
岡山県	1	0.02	85	1.57	18	0.33	-	-	1	0.08	-	-	-	-	4	0.80	-	-
広島県	1	0.01	39	0.55	24	0.34	1	0.05	19	1.00	-	-	1	0.05	-	-	-	-
山口県	-	-	84	1.79	3	0.06	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.11	-	-
徳島県	-	-	42	1.83	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	11	0.37	6	0.20	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	10	0.27	16	0.43	-	-	13	1.63	-	-	-	-	1	0.17	-	-
高知県	1	0.03	18	0.60	8	0.27	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.75	-	-
福岡県	1	0.01	166	1.38	91	0.76	-	-	25	0.96	-	-	1	0.08	2	0.15	-	-
佐賀県	-	-	48	2.09	22	0.96	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	26	0.59	29	0.66	4	0.50	3	0.38	-	-	-	-	4	0.33	-	-
熊本県	-	-	132	2.64	8	0.16	1	0.11	9	1.00	-	-	1	0.07	3	0.20	-	-
大分県	2	0.06	36	1.00	11	0.31	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	3	0.27	-	-
宮崎県	-	-	28	0.78	14	0.39	-	-	10	1.67	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	67	1.22	16	0.29	-	-	5	0.71	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	5	0.15	13	0.38	1	0.10	18	1.80	-	-	1	0.14	17	2.43	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年25週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	6
北海道	-
青森県	-
岩手県	-
宮城県	-
秋田県	-
山形県	-
福島県	1
茨城県	-
栃木県	1
群馬県	-
埼玉県	-
千葉県	-
東京都	-
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	-
石川県	-
福井県	-
山梨県	-
長野県	-
岐阜県	-
静岡県	-
愛知県	-
三重県	-
滋賀県	-
京都府	1
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	1
島根県	-
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	-
佐賀県	-
長崎県	-
熊本県	-
大分県	-
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	2

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年25週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年25週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第25号 2013年7月5日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症疫学センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。